

# 直轄工事における総合評価落札方式の実施状況 【平成29年度】



国土交通省 国土技術政策総合研究所

~National Institute for Land and Infrastructure Management

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism~

平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受けて、国土交通省の直轄工事では総合評価落札方式を適用することにより、公共工事の品質確保を図ってきた。地方整備局が平成29年度に契約した工事のうち総合評価落札方式を適用した工事について、これまでの経年状況と併せて概観する平成29年度年次報告として整理した。

## 1. 総合評価落札方式の適用状況

- 平成29年度の総合評価落札方式適用率は件数ベースで99.1%、金額ベースで99.8%。(P1～2)
- 各契約タイプにおける件数ベースの内訳は、施工能力評価型(Ⅱ型)が65.7%で最も多く、同(Ⅰ型)が26.0%、技術提案評価型(S型)が8.3%、技術提案評価型(A型)が0.0%。金額ベースの内訳は、技術提案評価型(S型)が40.8%、施工能力評価型(Ⅱ型)が36.6%。(P1～2)

## 2. 競争の程度の状況

- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で5.4者、技術提案評価型(S型)で6.5者となっており、2年連続で減少。WTO技術提案評価型(S型)については、平成29年度の1工事あたりの競争参加者数は15.9者で前年度より増加。(P4)

## 3. 落札率、入札率の状況

- 平均入札率は、施工能力評価型(Ⅰ型・Ⅱ型)で平成29年度は94.9%であり、前年度より増加。WTO技術提案評価型(S型)については、平成29年度は92.7%。(P7)

## 4. 技術評価の状況

- WTO技術提案評価型(S型)の技術評価点1位同点者数は、平成29年度は1.5者で前年度より減少。技術評価点1位と2位の得点差は、技術提案評価型(S型)で平均2.7%、施工能力評価型で平均2.6%、WTO技術提案評価型(S型)は1.3%であり、WTO技術提案評価型(S型)が最も小さい。(P14)

## 5. 総合評価の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で平成29年度は85.1%、技術提案評価型(S型)で85.9%であり、前年度より増加。(P21)
- 技術評価点の最高得点者が調査基準価格付近(落札率が調査基準価格率+0.5%未満)の価格で落札する割合は、WTO技術提案評価型(S型)で85%。(P26)

## 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 工事成績評定点の平均は、施工能力評価型(Ⅱ型)で78.2点、同(Ⅰ型)で79.0点、技術提案評価型(S型)で78.7点、WTO技術提案評価型(S型)で79.3点。(P35)

※当年度報告は、経年変化を見るために総合評価落札方式について分析を行ったもので、随意契約については対象としていない。

※「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうち、WTO対象額以上の工事を示す。

1. 総合評価落札方式の適用状況	1
2. 競争の程度の状況	4
3. 落札率・入札率の状況	6
4. 技術評価の状況	13
5. 総合評価の特徴	21
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	33

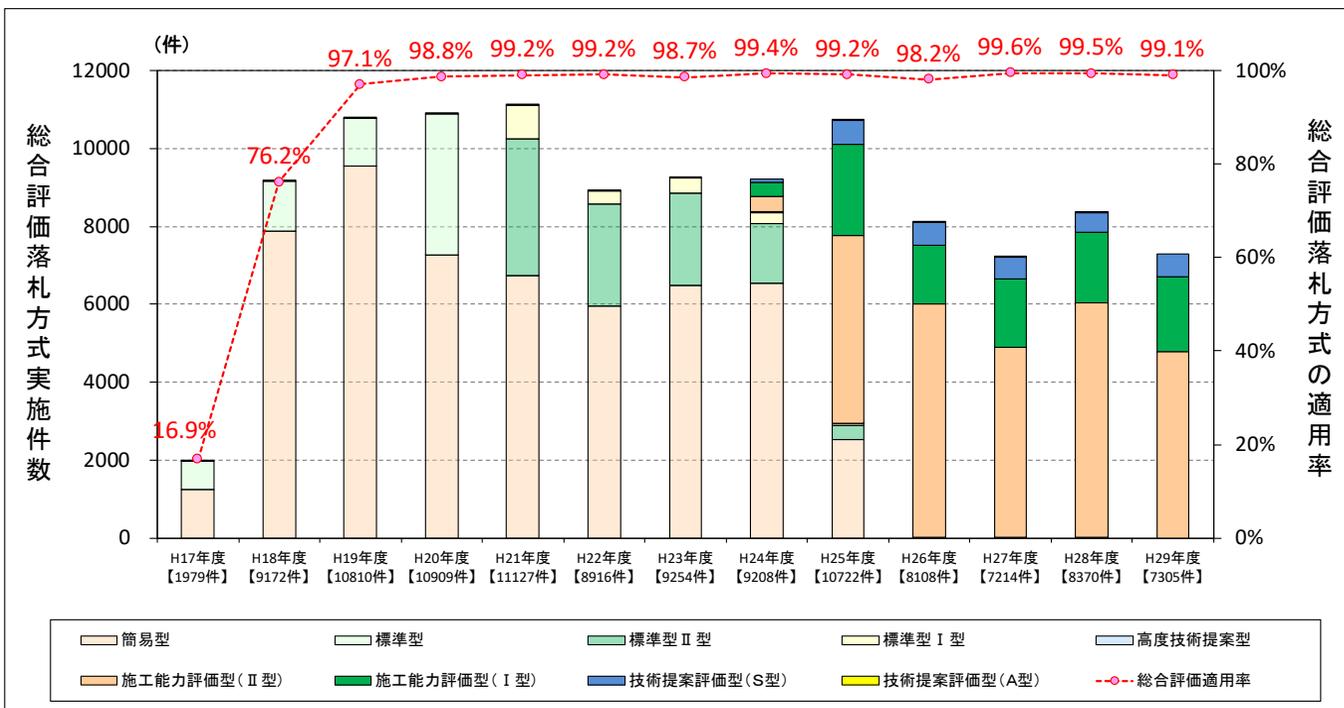
# 1. 総合評価落札方式の適用状況

## (1) 総合評価落札方式適用件数、金額〔経年の推移〕

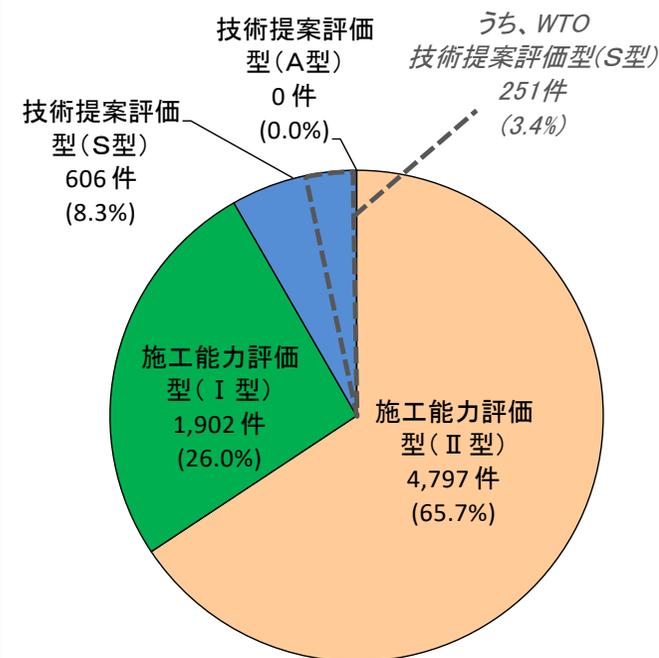
### ①実施件数

- 平成29年度の総合評価落札方式適用率は件数ベースで99.1%となっている。
- 各契約タイプにおける件数ベースの内訳は、施工能力評価型(Ⅱ型)が65.7%で最も多く、同(Ⅰ型)が26.0%、技術提案評価型(S型)が8.3%、技術提案評価型(A型)が0.0%となっている。

【実施件数(平成17年度～平成29年度)】



【件数シェア(平成29年度)】



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)。

注2) 適用率は随意契約を除く工事契約件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合。

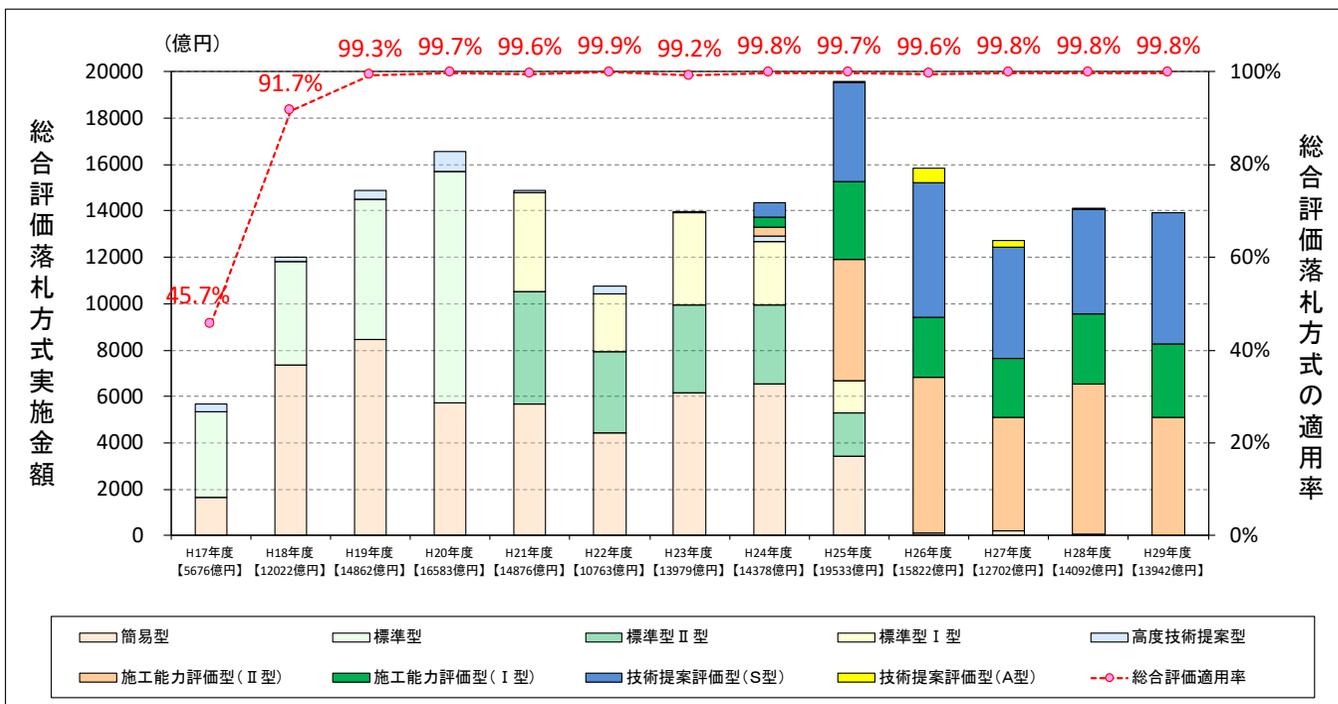
注3) 平成29年度は上記の他、技術提案・交渉方式による手続きを経た工事(1件)および価格競争による工事(63件)の契約を締結。

# 1. 総合評価落札方式の適用状況

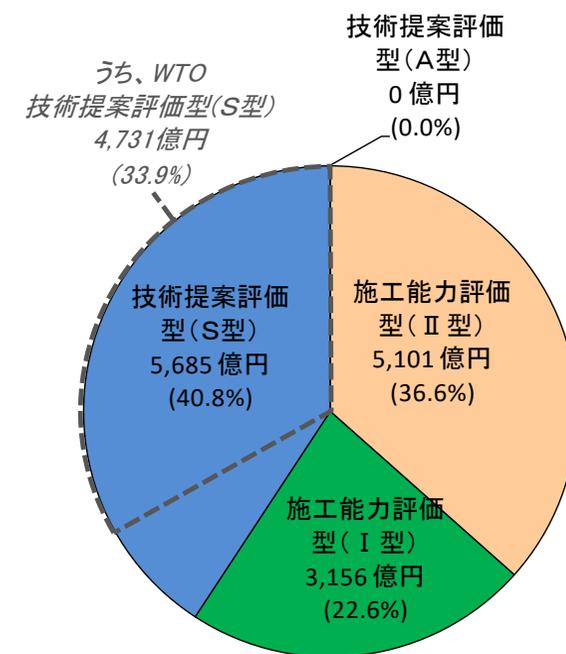
## ②実施金額（契約額）

- 平成29年度の総合評価落札方式適用率は金額ベースで99.8%となっている。
- 各契約タイプにおける金額ベースの内訳は、技術提案評価型（S型）が40.8%、施工能力評価型（Ⅱ型）が36.6%となっている。

【実施金額（平成17年度～平成29年度）】



【金額シェア（平成29年度）】



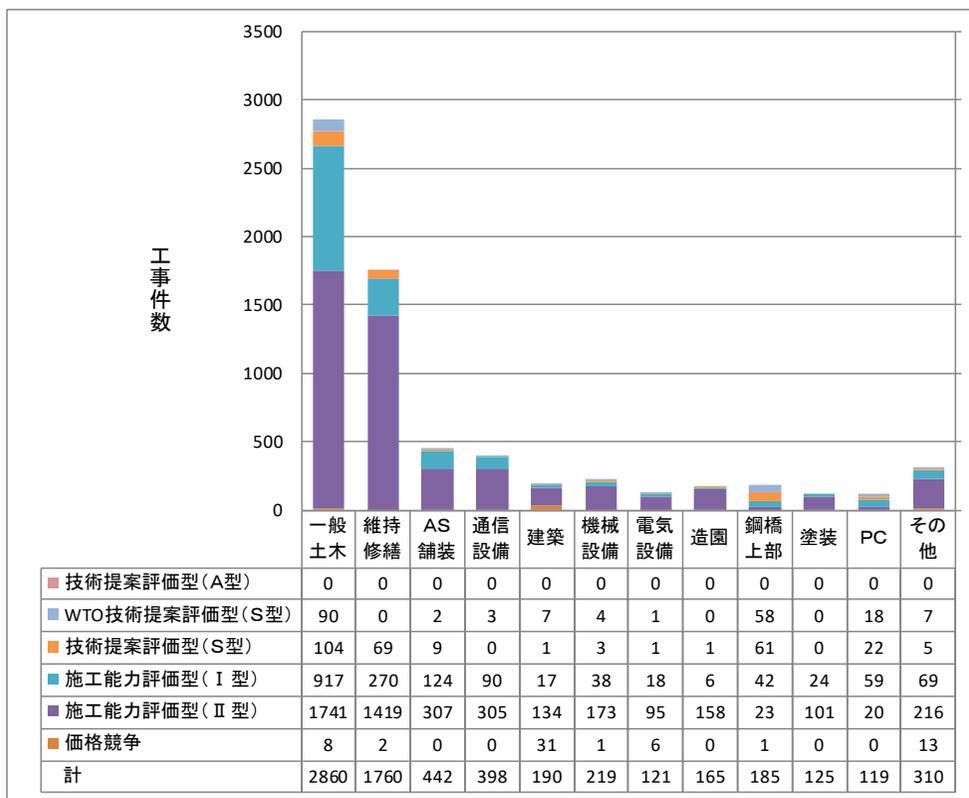
注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）。  
 注2) 適用率は随意契約を除く工事契約金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合。  
 注3) 実施金額は契約額(税抜)  
 注4) 平成29年度は上記の他、技術提案・交渉方式による手続きを経た1.35億円(1件)の工事および価格競争による33億円(63件)の工事の契約を締結。

# 1. 総合評価落札方式の適用状況

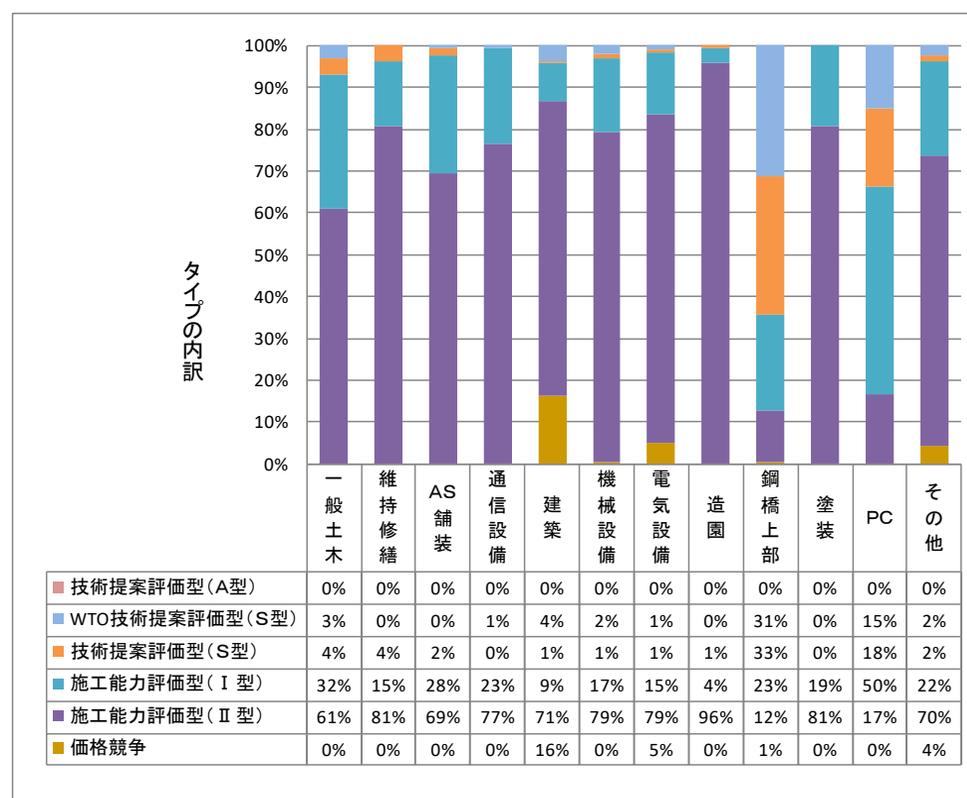
## (2) 契約タイプの適用状況 工事種別〔平成29年度〕

- 技術提案評価型を適用した工事の割合は、鋼橋上部で64%、PCで33%となっている。
- 施工能力評価型の適用は一般土木で93%となっている他、鋼橋上部とPC、建築以外の工事は施工能力評価型の適用が90%を超えている。

【工事種別ごとの工事件数】



【工事種別ごとの割合】



注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象

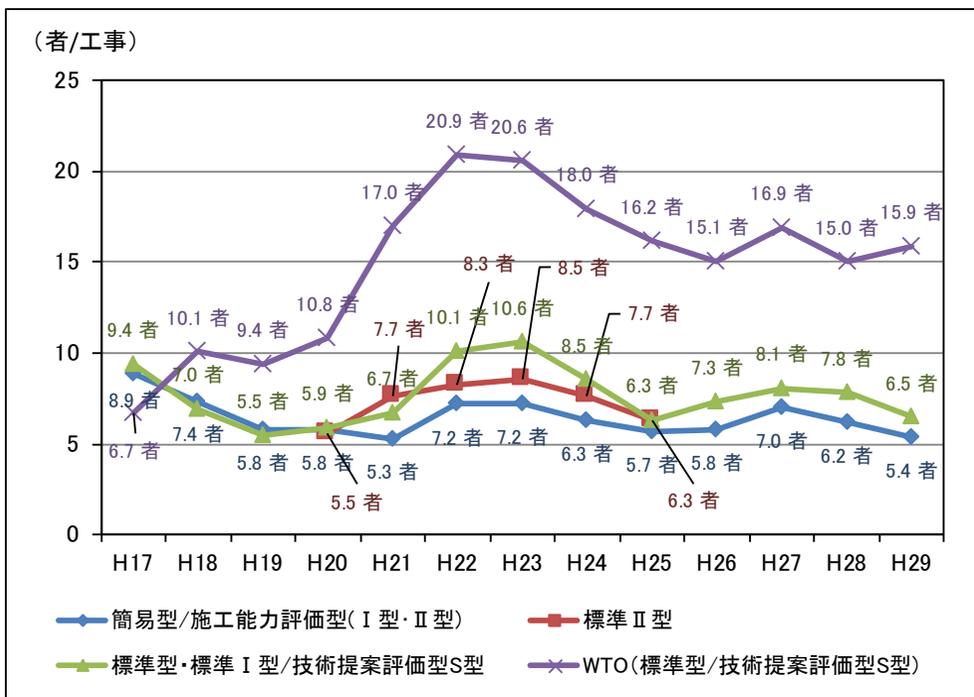
※ AS舗装(アスファルト舗装)、PC(プレストレスト・コンクリート)として示す。(以後、同様)

# 2. 競争の程度の状況

## (1) 1工事あたりの競争参加者数〔経年の推移〕

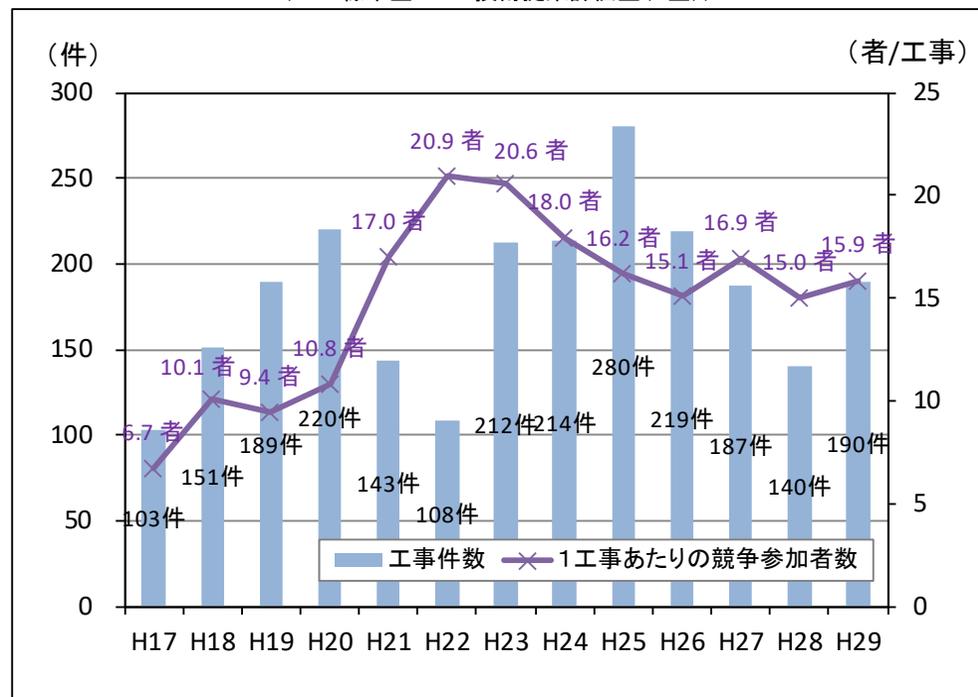
- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で5.4者、技術提案評価型(S型)で6.5者となっており、2年連続で減少している。
- WTO技術提案評価型(S型)については、平成29年度の1工事あたりの競争参加者数は15.9者で前年度より増加している。

【1工事あたりの競争参加者数】



【工事件数の推移と1工事あたりの競争参加者数】

(WTO標準型/WTO技術提案評価型(S型))



注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係および下記を除く工事を対象  
 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 平成22年度以前の競争参加者数は7地方整備局で集計。

注3) 競争参加者数には無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

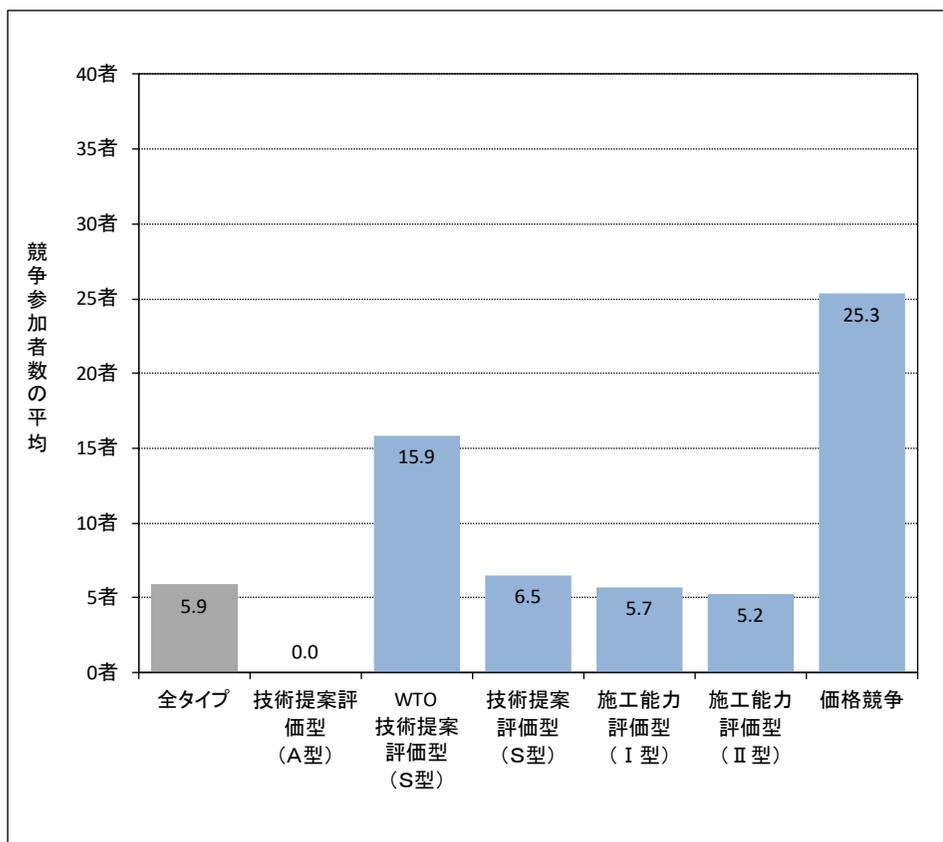
注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

# 2. 競争の程度の様況

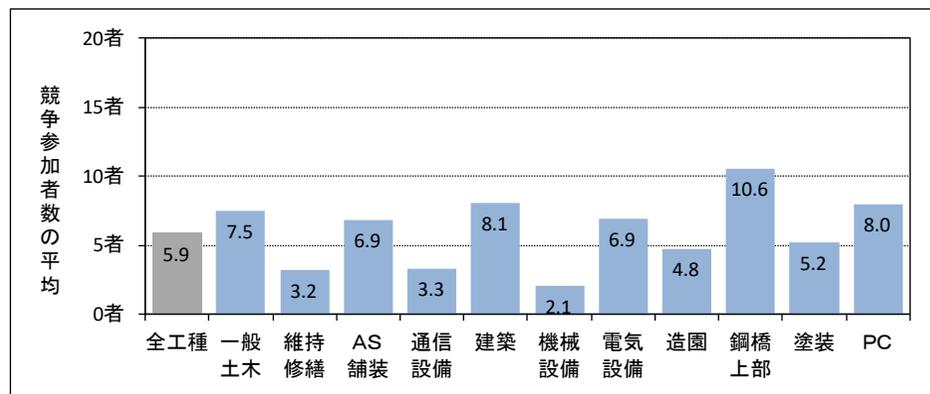
## (2) 契約タイプ別、工事種別別の競争参加状況〔平成29年度〕

- 総合評価の契約タイプ別では、施工能力評価型(Ⅱ型)の競争参加者数は平均5.2者となっている。WTO技術提案評価型(S型)では平均15.9者と多くなっている。
- 工事種別別では、一般土木は平均7.5者、AS舗装と電気設備で6.9者、鋼橋上部で10.6者、PCで8.0者と多くなっている。

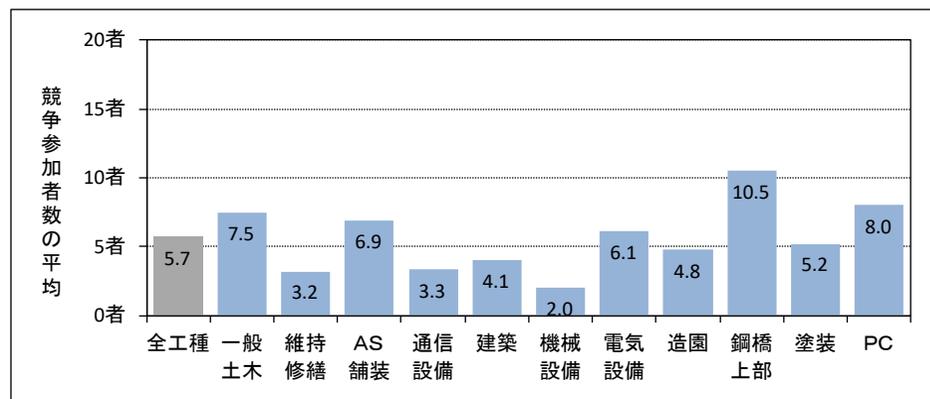
【契約タイプ別・競争参加者数の平均】



【工事種別別・競争参加者数の平均】



<参考> 【工事種別別・競争参加者数の平均(価格競争除く)】



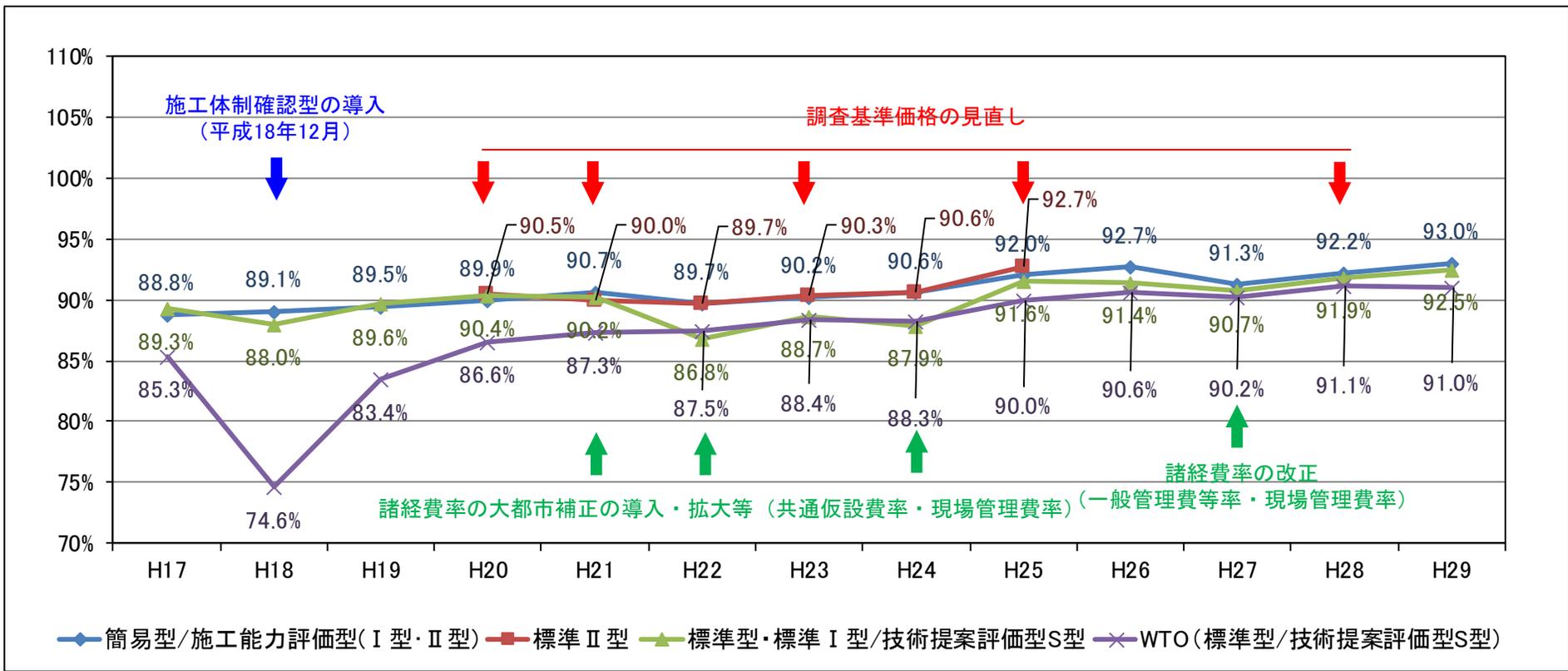
注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象  
 注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

# 3. 落札率・入札率の状況

## (1) 平均落札率〔経年変化〕 (平均落札率:各工事の「落札価格/予定価格」を平均したもの)

- 平均落札率は、施工能力評価型(I型・II型)で平成29年度は93.0%であり、施工体制確認型が導入された平成18年の89.1%から3.9%の上昇となっている。
- WTO技術提案評価型(S型)の平均落札率は、平成29年度は91.0%となっている。

【落札率の経年変化】



(落札者の「落札価格/予定価格」を、各タイプ別に年度ごとに平均した値)

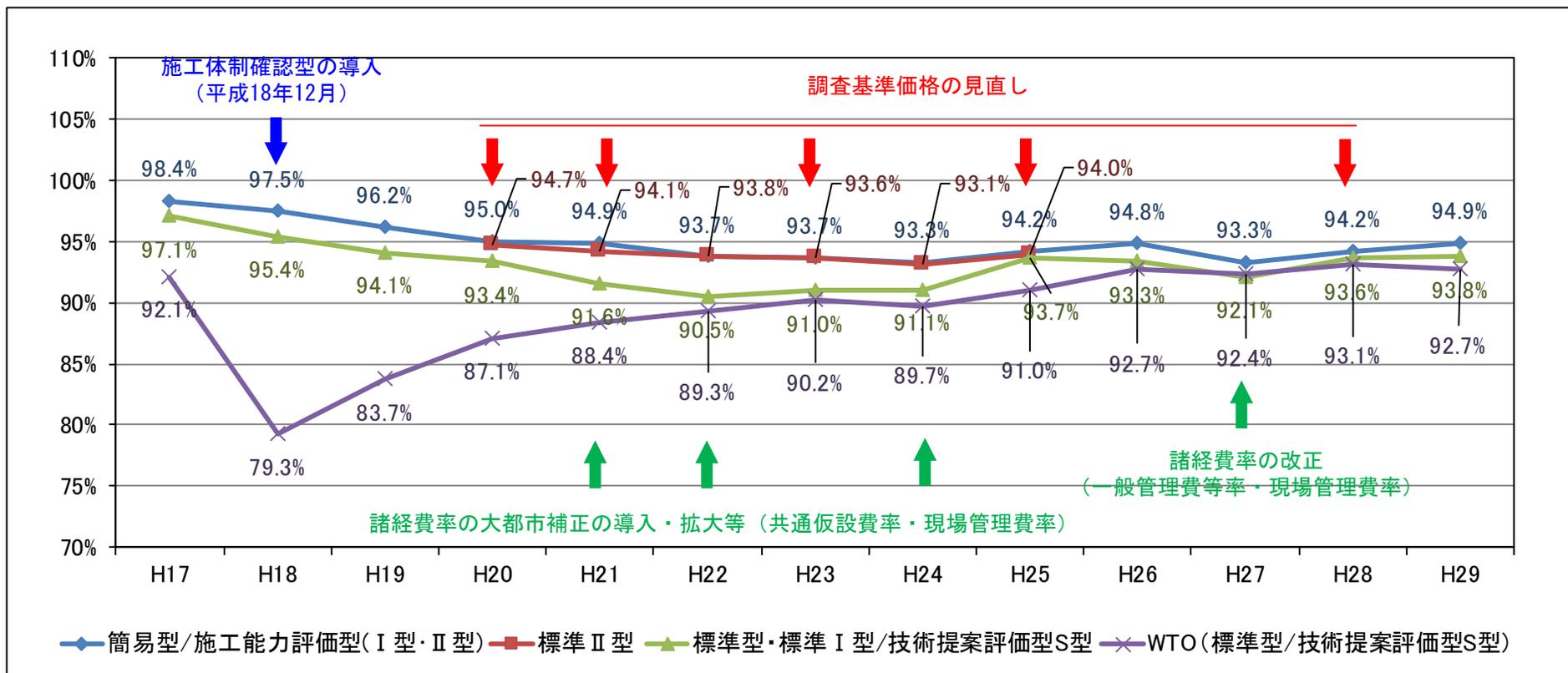
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

# 3. 落札率・入札率の状況

## (2) 平均入札率〔経年変化〕 (平均入札率:各工事の「入札価格/予定価格」を平均したもの)

- 平均入札率は、施工能力評価型(I型・II型)で平成29年度は94.9%であり、前年度より増加している。
- WTO技術提案評価型(S型)については、平成29年度は92.7%である。

【入札率の経年変化】



(入札参加者(無効・辞退等を除く)の「入札価格/予定価格」を、各タイプ別に年度ごとに平均した値)

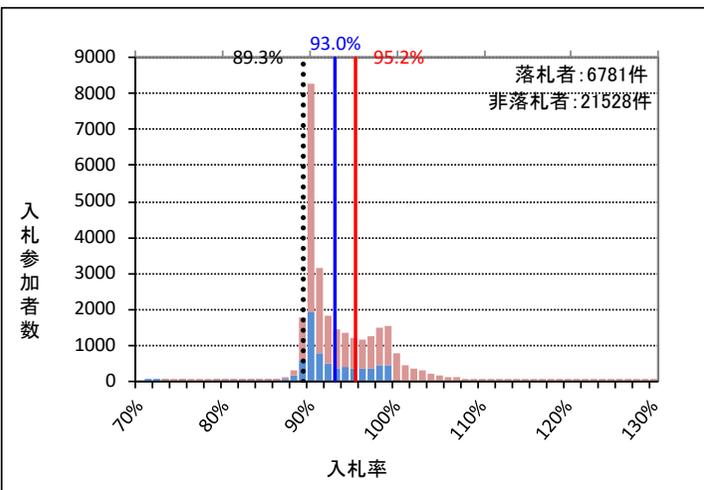
注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

# 3. 落札率・入札率の状況

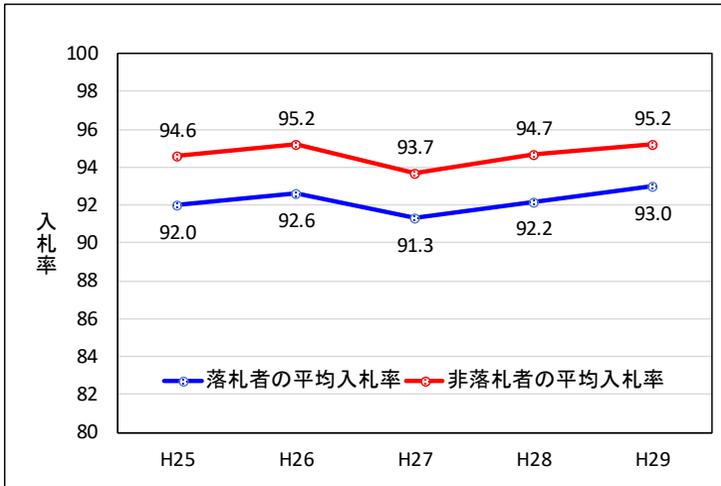
## (3) 入札率の分布〔経年変化〕

■ 入札率の分布は調査基準価格付近で多く、落札者の平均入札率は平成29年度に93.0%と平成28年度に比べ0.8%上昇、非落札者の平均入札率は同95.2%で0.5%上昇している。

【平成29年度】



【平均入札率の経年変化】



〔凡例〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

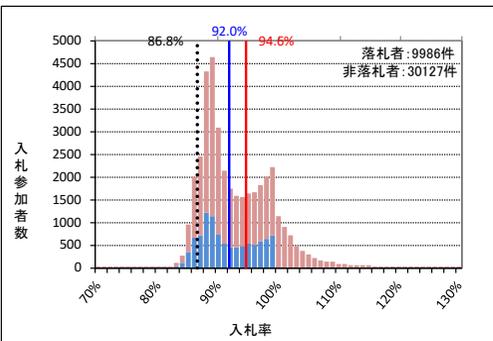
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

・調査基準価格が設定されていない工事

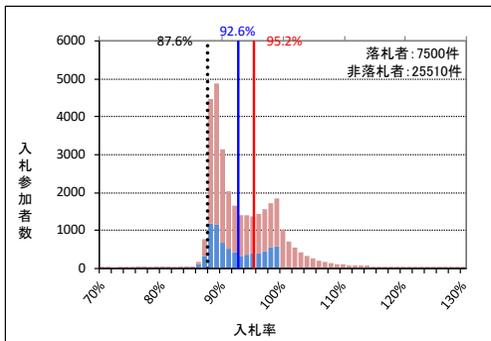
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 「調査基準価格率」とは、調査基準価格を予定価格で除して算出した数値

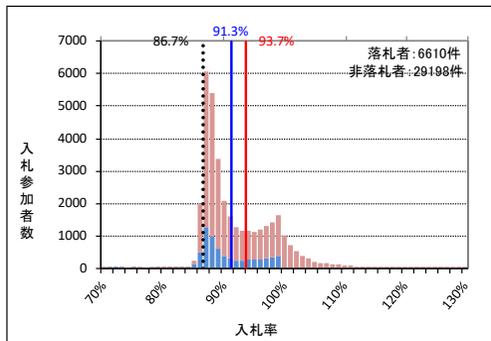
【平成25年度】



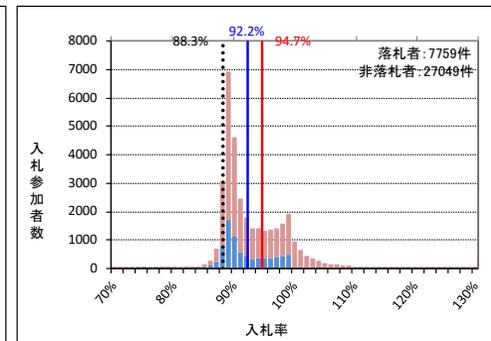
【平成26年度】



【平成27年度】



【平成28年度】

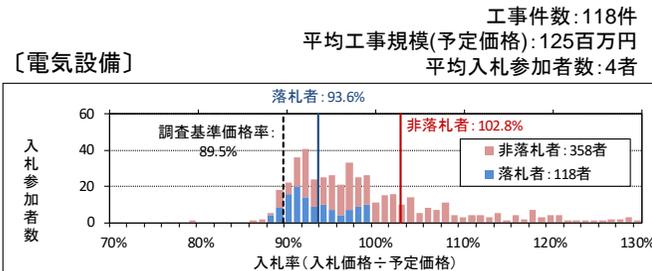
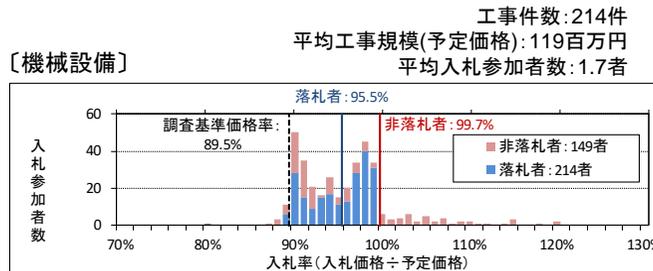
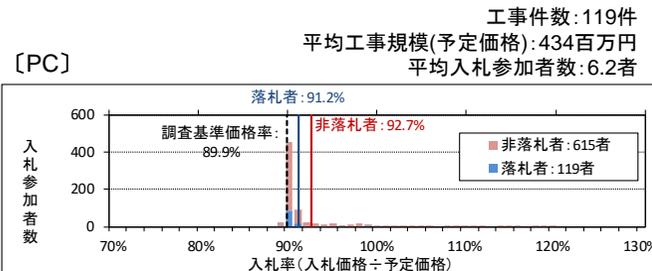
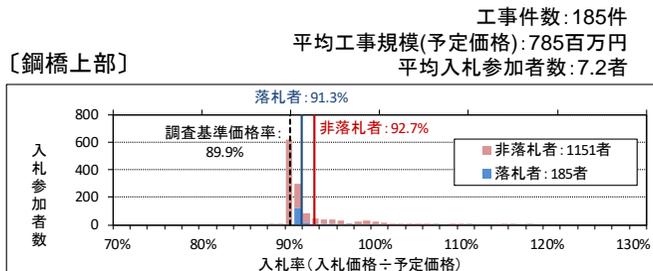
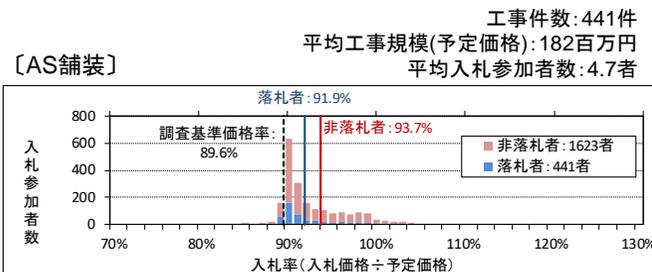
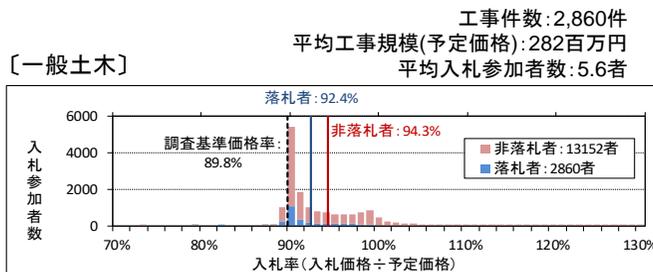
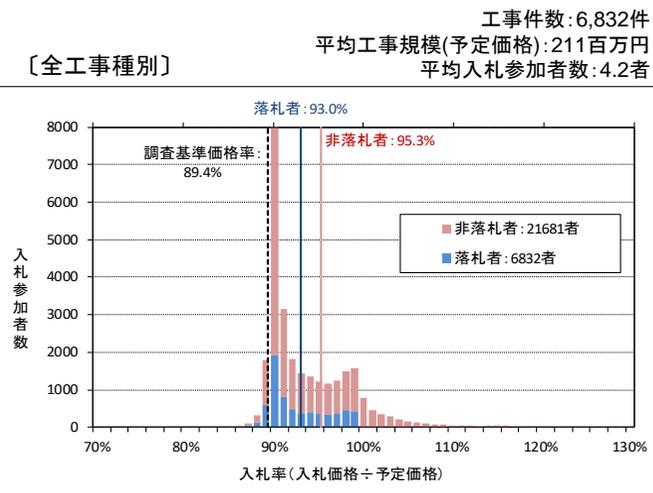


# 3. 落札率・入札率の状況

## (4) 入札率の分布〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、入札率の分布が調査基準価格付近に集中している。
- 維持修繕、機械設備では、調査基準価格付近の他、予定価格付近にも集中している。



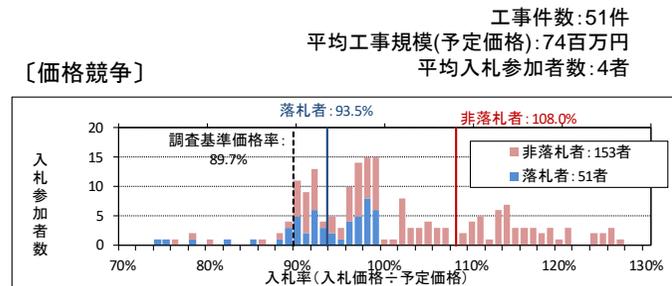
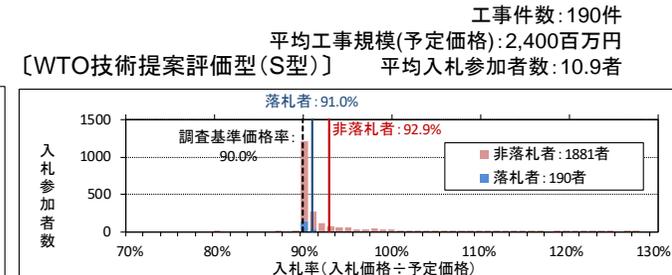
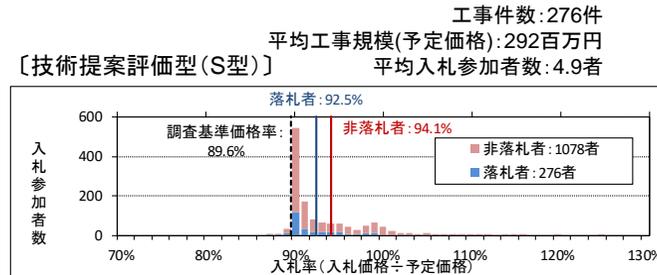
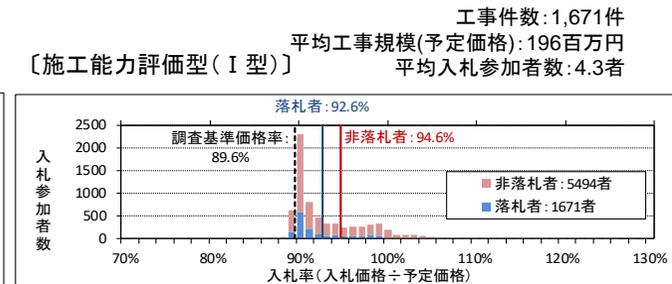
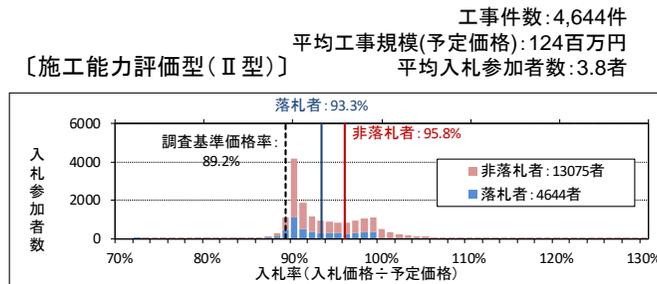
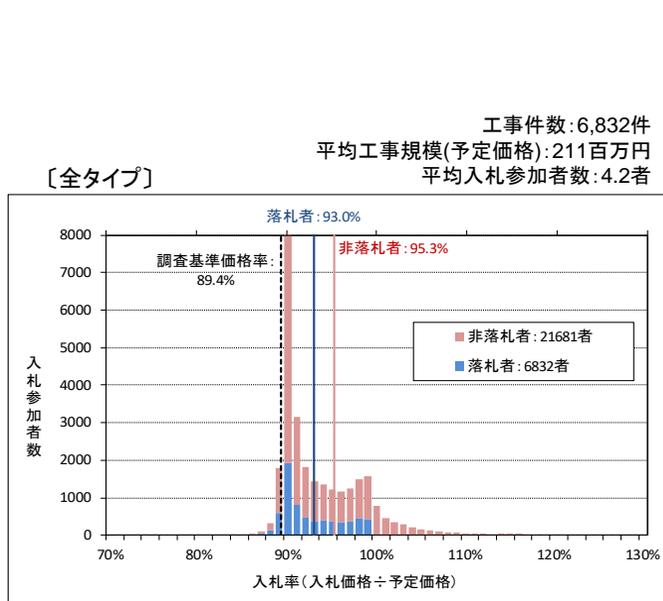
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・調査基準価格の設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率」の分布が、他の契約タイプよりも調査基準価格付近に集中している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・調査基準価格の設定されていない工事

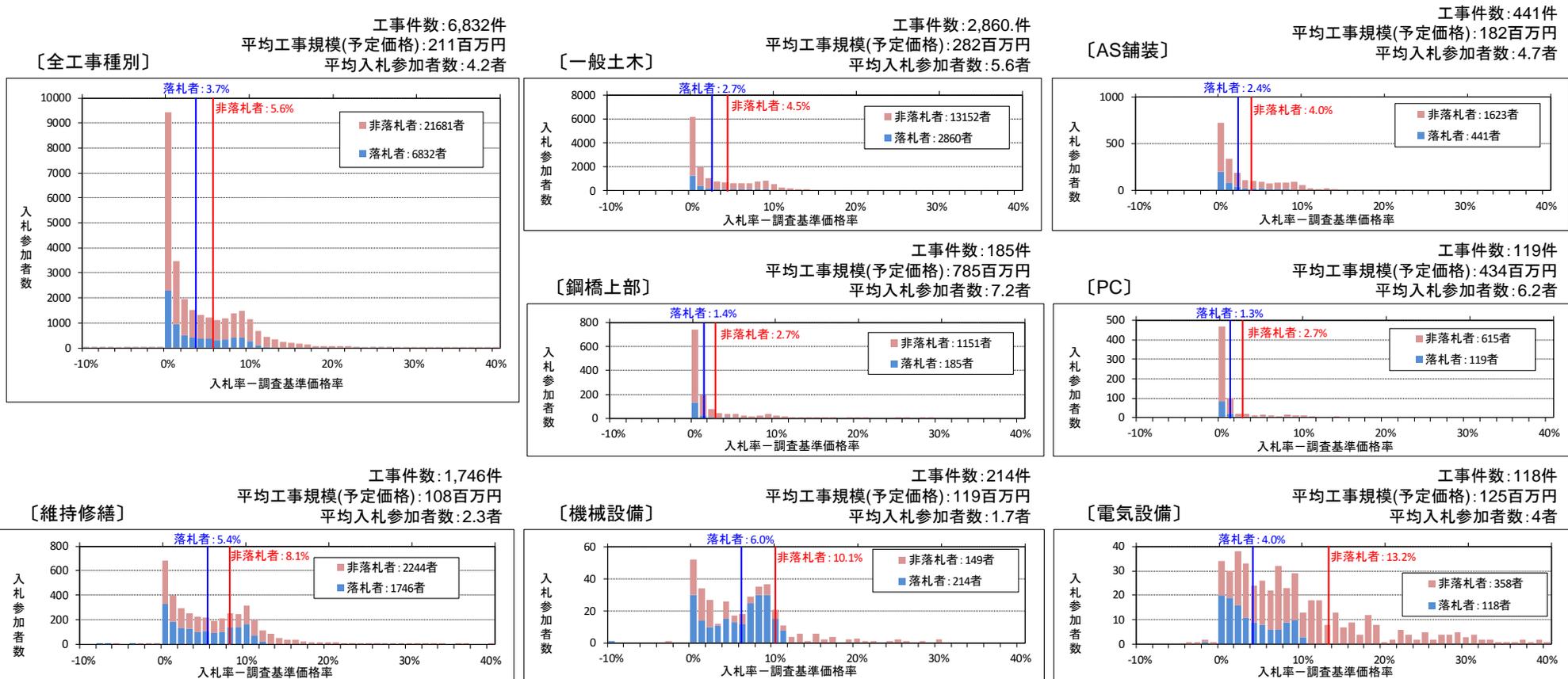
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

## (5) 「入札率-調査基準価格率」の分布〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは「入札率と調査基準価格率の差」の分布が、他の工事種別よりも0%付近に集中している。



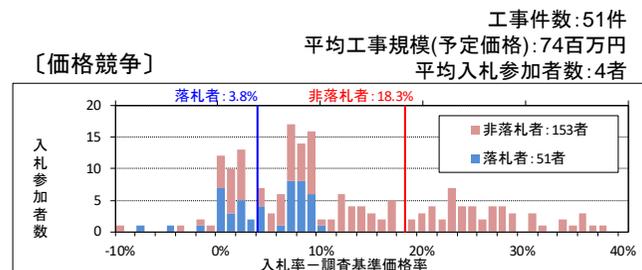
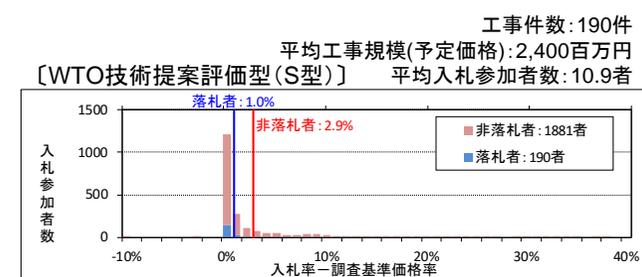
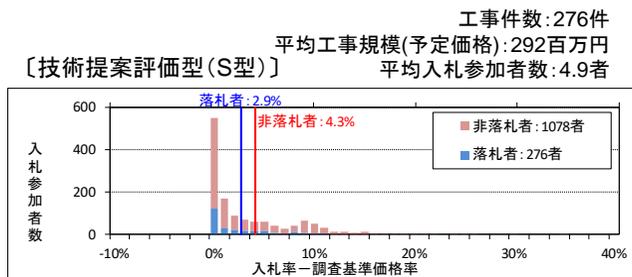
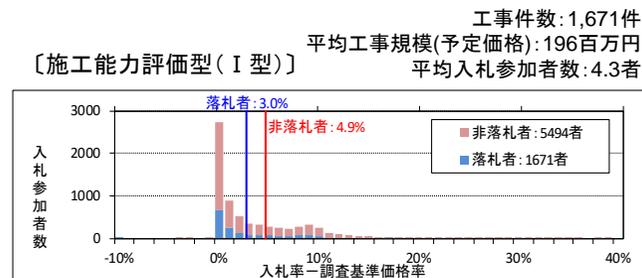
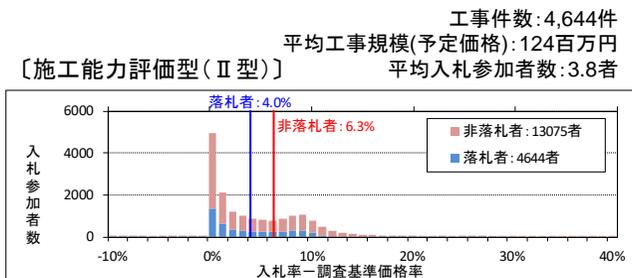
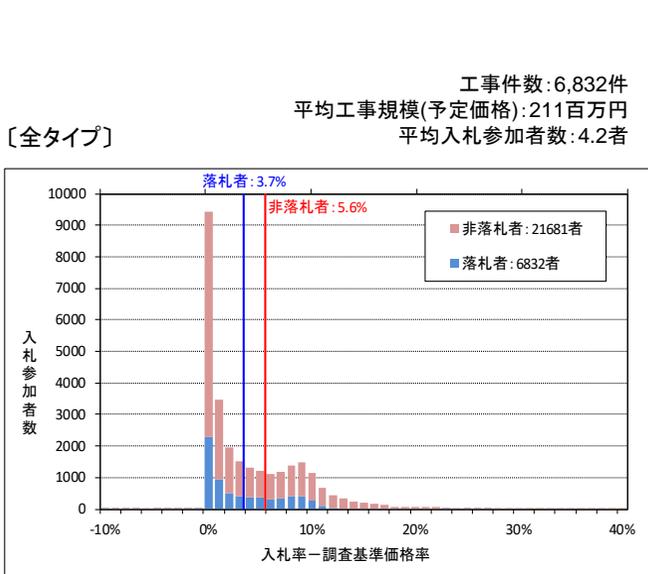
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・調査基準価格の設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率と調査基準価格率の差」の分布が、他の契約タイプよりも0%付近に集中している。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格の設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

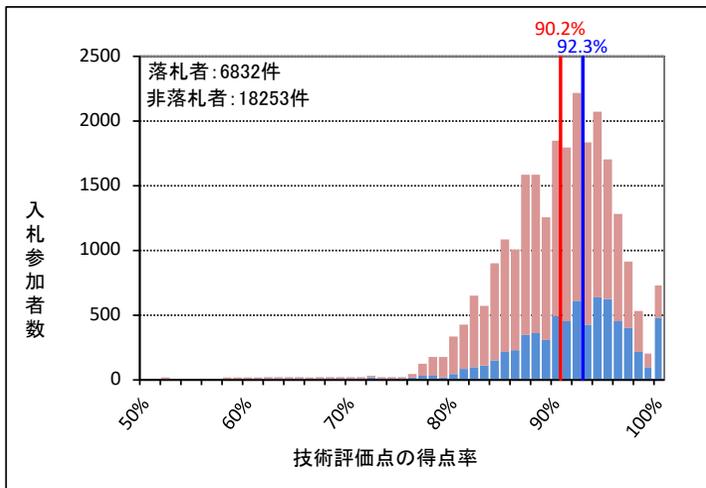
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

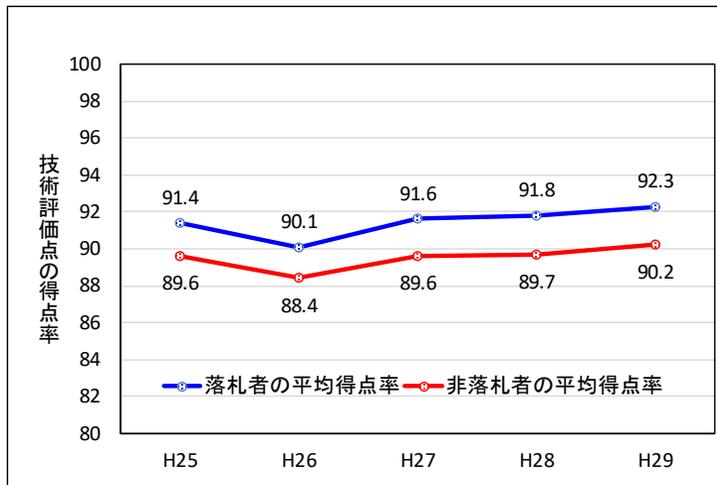
## (1) 入札参加者の技術評価点得点率分布〔経年の推移〕

■ 平成29年度の「技術評価点の得点率(技術評価点/技術評価点の満点)」は、落札者の平均92.3%、非落札者の平均90.2%となり、ともに平成28年度より0.5%高くなっている。

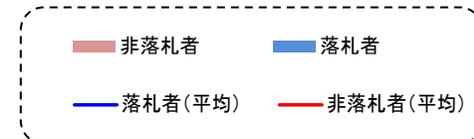
【平成29年度】



【平均得点率の経年変化】



〔凡例〕

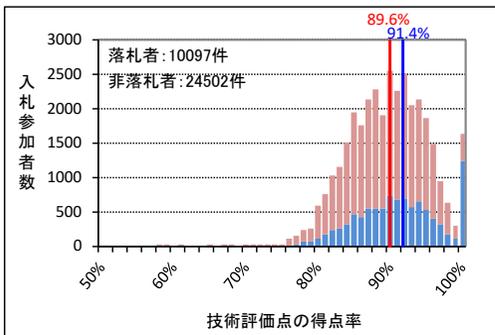


注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。

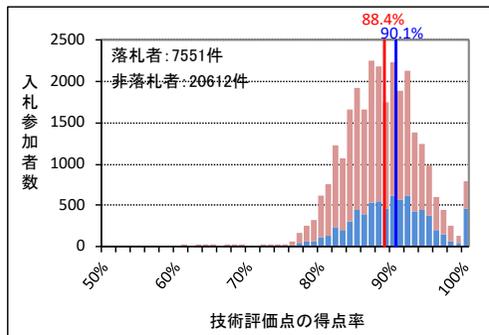
- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

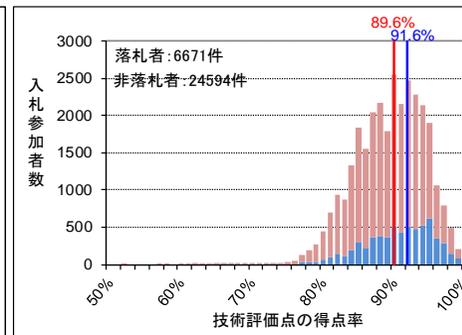
【平成25年度】



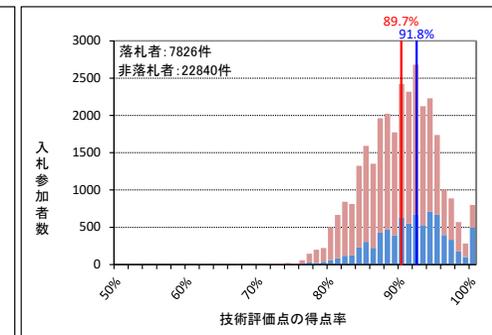
【平成26年度】



【平成27年度】



【平成28年度】

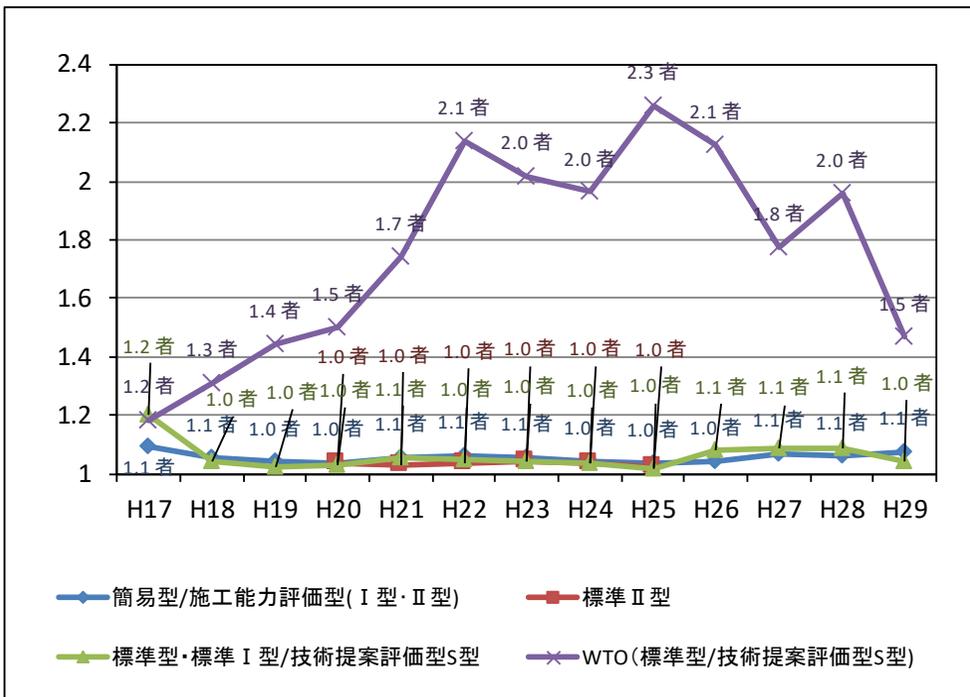


# 4. 技術評価の状況

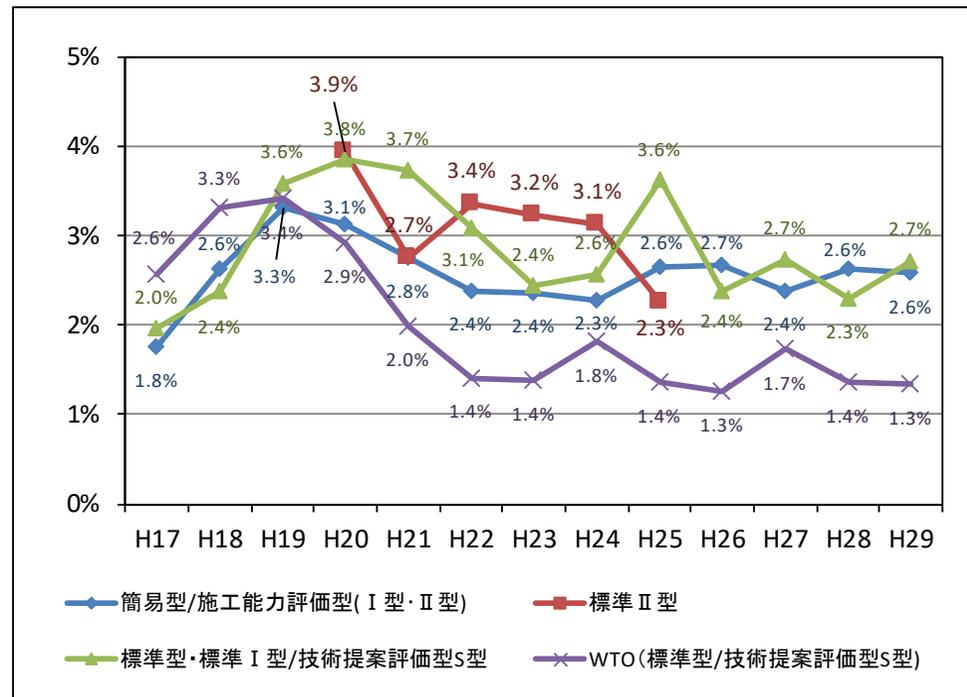
## (2) 技術評価点 1位同点者数・技術評価点1位と2位の得点率の差〔経年の推移〕

- WTO技術提案評価型(S型)の技術評価点1位同点者数は、平成29年度は1.5者で前年度より減少している。
- 技術評価点1位と2位の得点差は、技術提案評価型(S型)で平均2.7%、施工能力評価型で平均2.6%、WTO技術提案評価型(S型)は1.3%であり、WTO技術提案評価型(S型)が最も小さい。

【技術評価点 1位同点者数】



【技術評価点 1位と2位の得点率の差】



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2)技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3)以下の工事は比較から除いている。

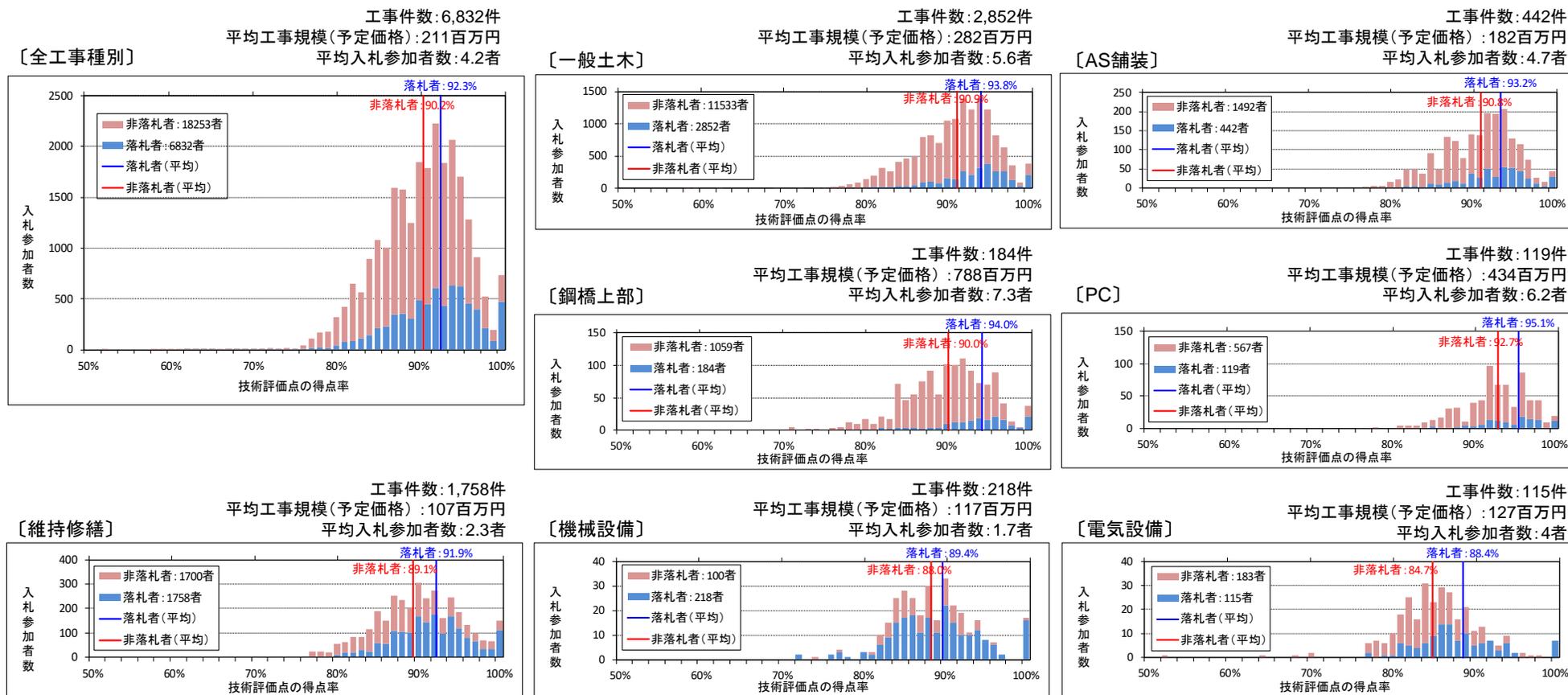
- ・予定価格内1者の工事(「技術評価点1位と2位の得点差」の集計)
- ・高度技術提案型/技術提案評価型A型
- ・加算方式の試行工事(平成19年度)

# 4. 技術評価の状況

## (3) 入札参加者の技術評価点得点率の分布 [平成29年度]

### ① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCの「技術評価点の得点率」は、落札者の平均が他の工事種別よりも高くなっている。
- 維持修繕、機械設備、電気設備では、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。



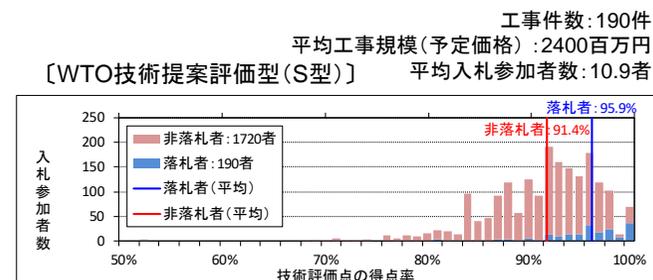
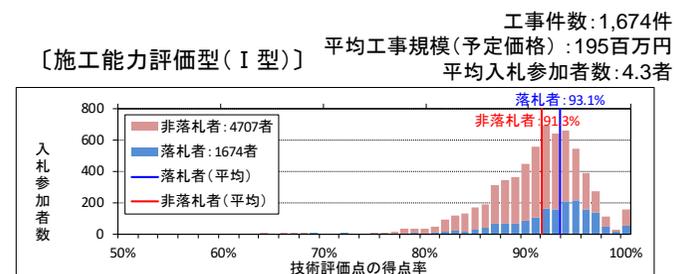
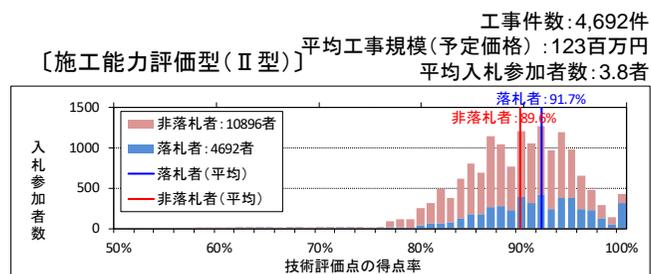
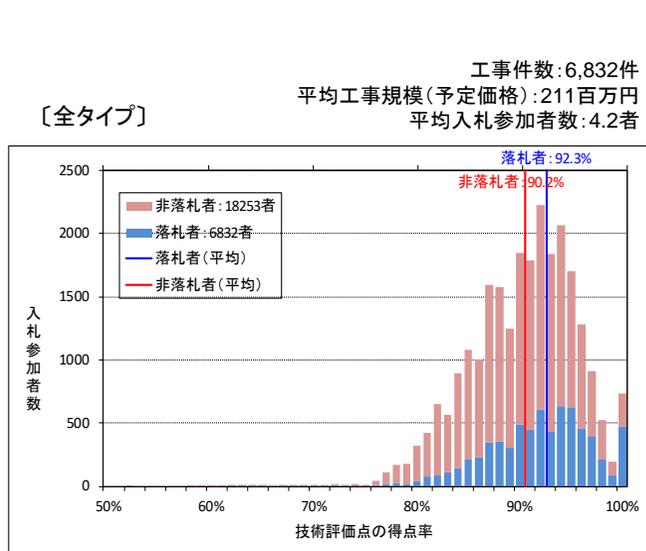
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## ②総合評価のタイプ別

■ 「技術評価点の得点率」の平均は、施工能力評価型よりも技術提案評価型において落札者と非落札者の得点率の差が大きい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

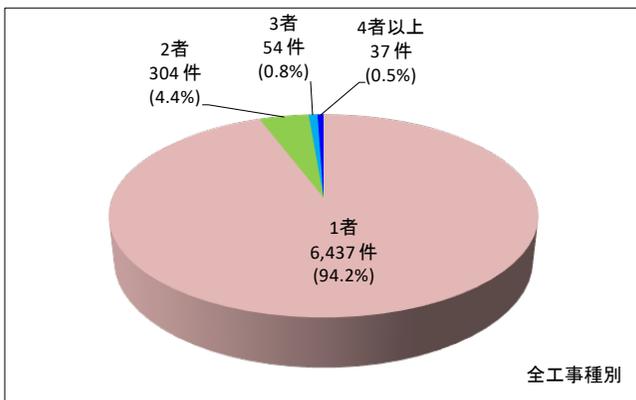
# 4. 技術評価の状況

## (4) 技術評価点1位同点者数〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位同点者数」は、他の工事種別よりも2者以上の割合が多く、さらに鋼橋上部、PCは、4者以上の割合も多い。

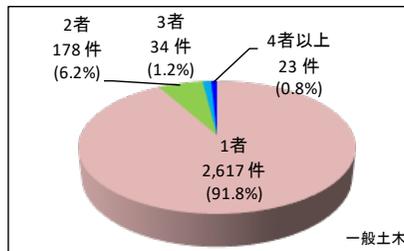
〔全工事種別〕



工事件数: 6,832件  
平均工事規模(予定価格): 211百万円  
平均入札参加者数: 4.2者

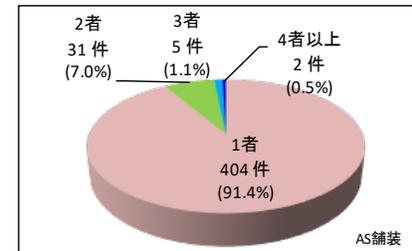
〔一般土木〕

工事件数: 2,852件  
平均工事規模  
(予定価格): 282百万円  
平均入札参加者数: 5.6者



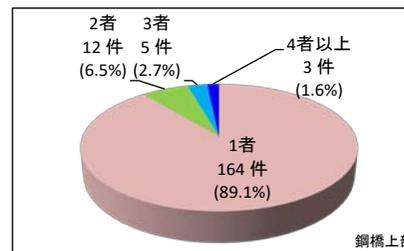
〔AS舗装〕

工事件数: 442件  
平均工事規模  
(予定価格): 182百万円  
平均入札参加者数: 4.7者



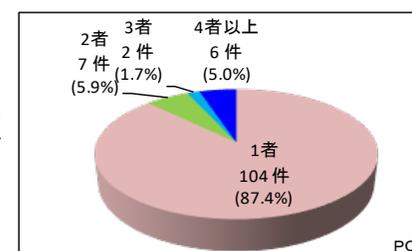
〔鋼橋上部〕

工事件数: 184件  
平均工事規模  
(予定価格): 788百万円  
平均入札参加者数: 7.3者



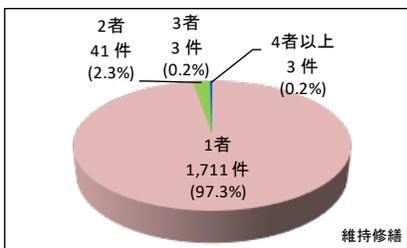
〔PC〕

工事件数: 119件  
平均工事規模  
(予定価格): 434百万円  
平均入札参加者数: 6.2者



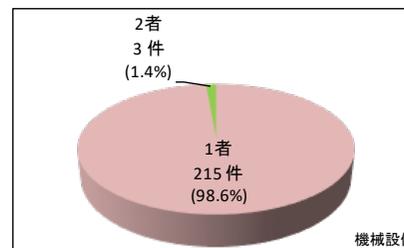
〔維持修繕〕

工事件数: 1,758件  
平均工事規模  
(予定価格): 107百万円  
平均入札参加者数: 2.3者



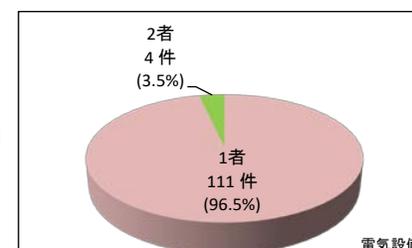
〔機械設備〕

工事件数: 218件  
平均工事規模  
(予定価格): 117百万円  
平均入札参加者数: 1.7者



〔電気設備〕

工事件数: 115件  
平均工事規模  
(予定価格): 127百万円  
平均入札参加者数: 4者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・価格競争

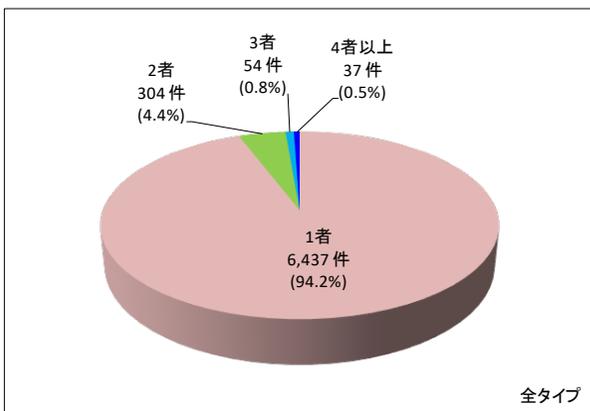
注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## ②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位同点者数」は、他のタイプよりも2者以上の割合が多い。

〔全タイプ〕

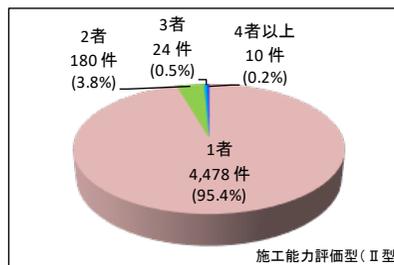


工事件数: 6,832件  
平均工事規模(予定価格): 211百万円  
平均入札参加者数: 4.2者

全タイプ

〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 4,692件  
平均工事規模  
(予定価格): 123百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



施工能力評価型(Ⅱ型)

〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

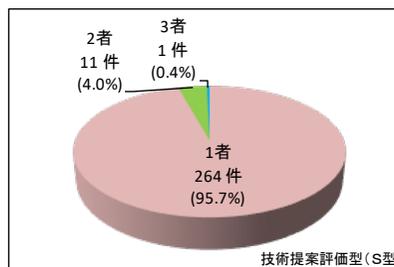
工事件数: 1,674件  
平均工事規模  
(予定価格): 195百万円  
平均入札参加者数: 4.3者



施工能力評価型(Ⅰ型)

〔技術提案評価型(S型)〕

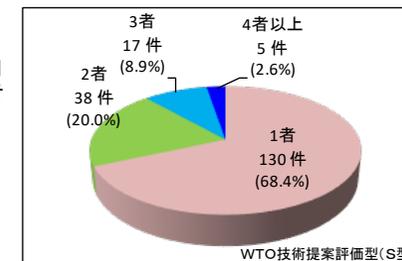
工事件数: 276件  
平均工事規模  
(予定価格): 292百万円  
平均入札参加者数: 4.9者



技術提案評価型(S型)

〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 190件  
平均工事規模  
(予定価格): 2400百万円  
平均入札参加者数: 10.9者



WTO技術提案評価型(S型)

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

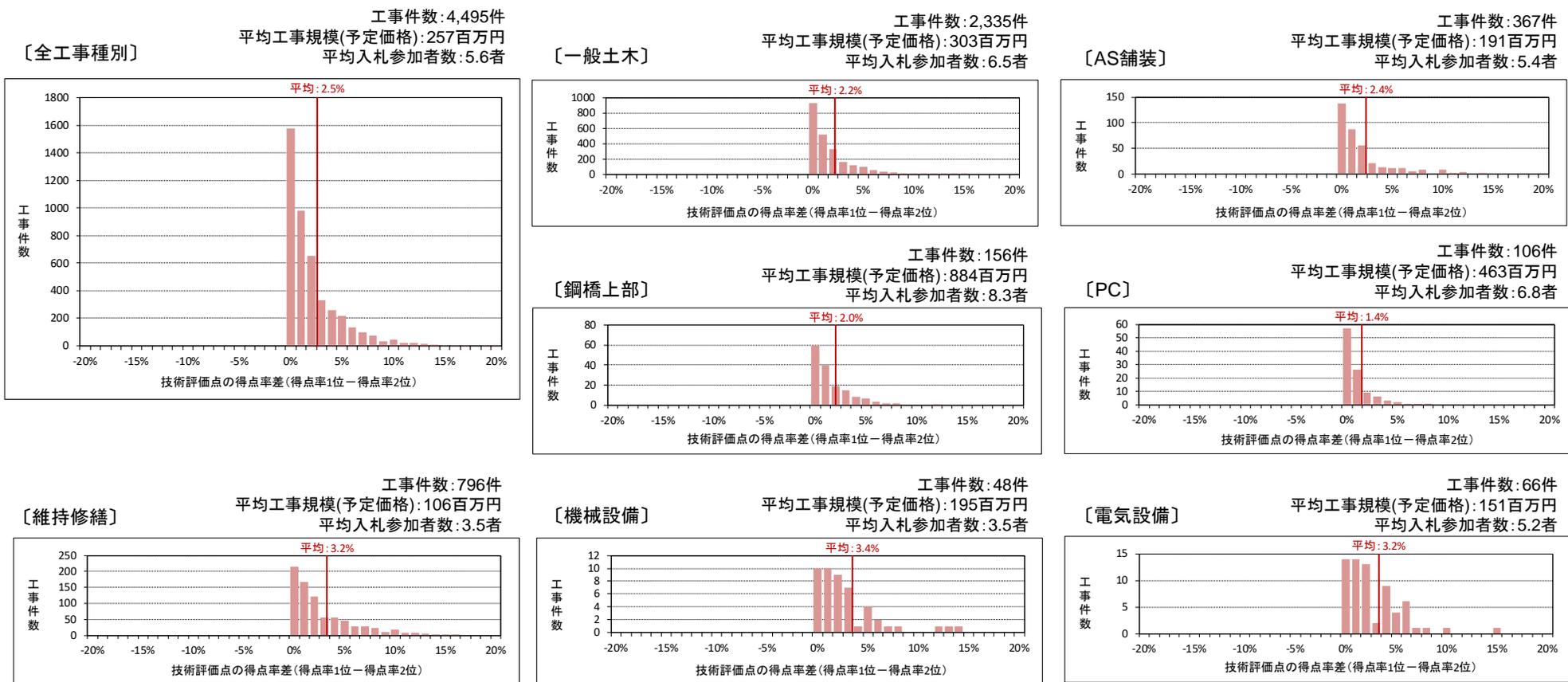
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## (5) 1位と2位の得点率の差の分布〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他の工事種別と比べて小さい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

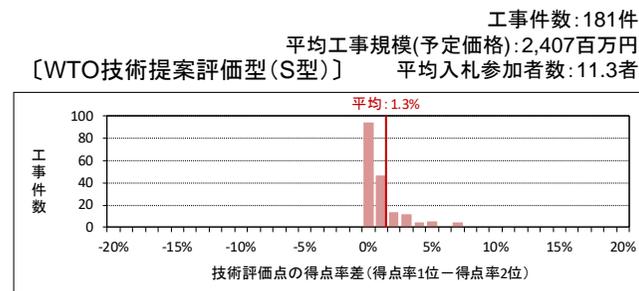
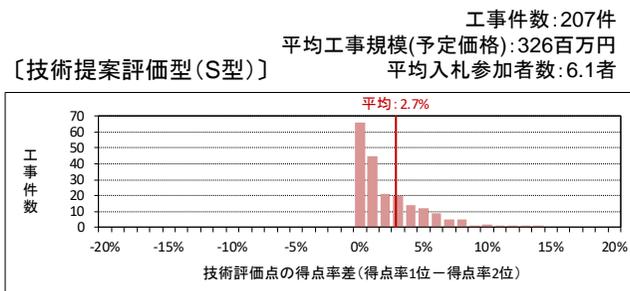
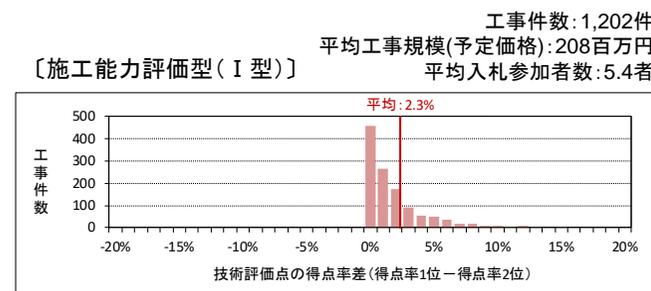
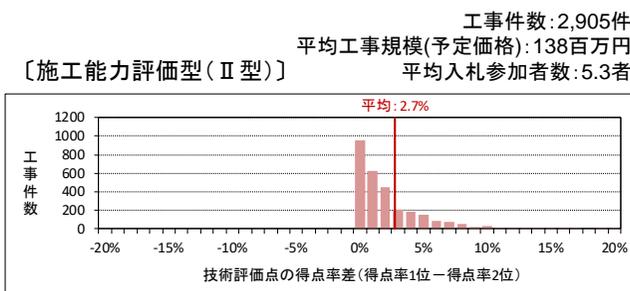
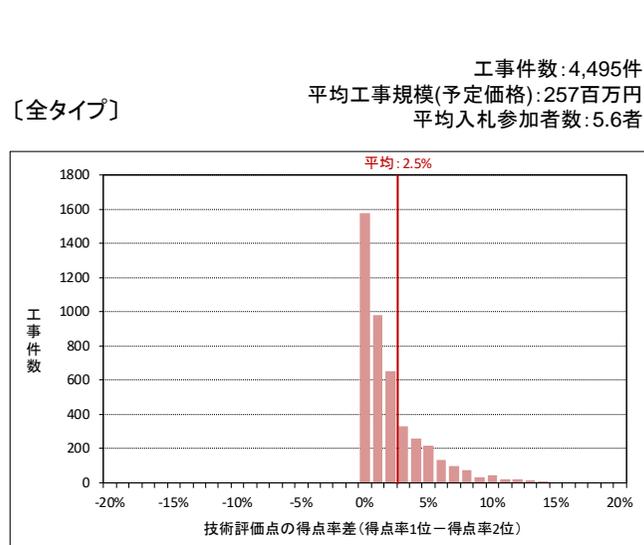
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## ②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他のタイプと比べて小さい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
 ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

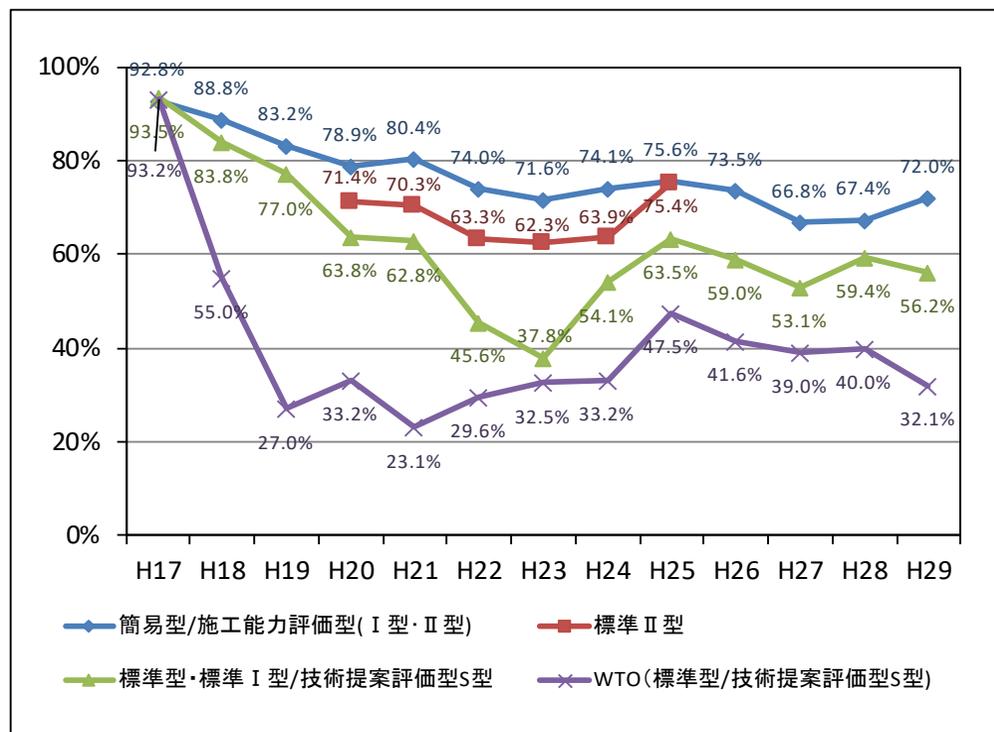
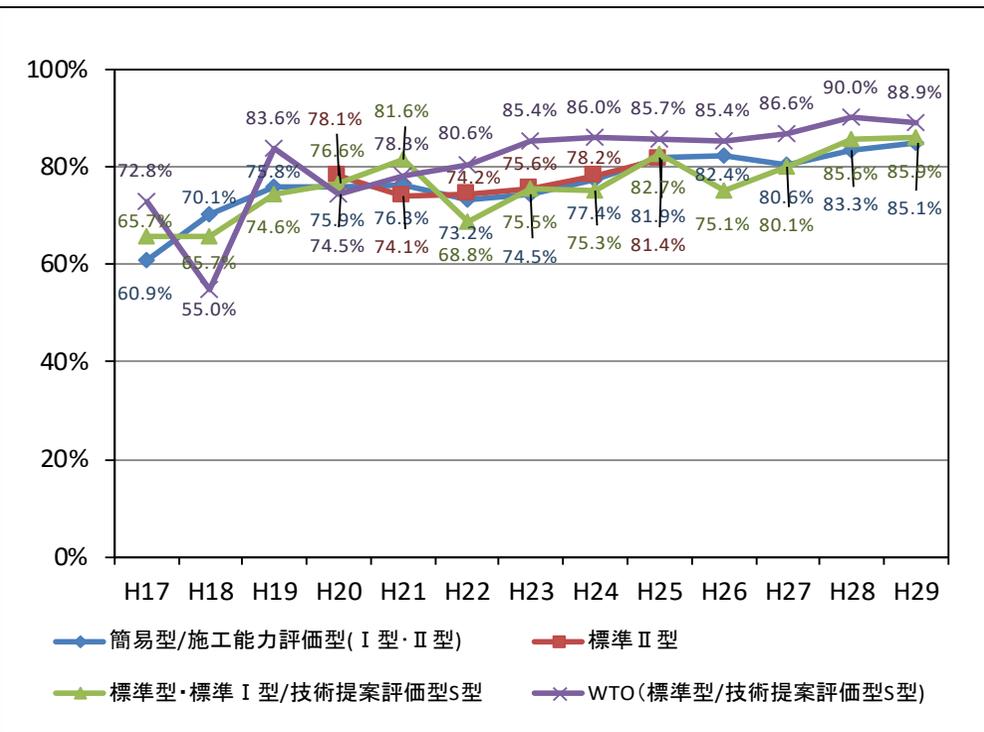
# 5. 総合評価の特徴

## (1) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合〔経年変化〕

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で平成29年度は85.1%、技術提案評価型(S型)で85.9%であり、前年度より増加している。
- 落札者に占める最低価格者の割合は、WTO技術提案評価型(S型)では平成29年度32.1%で平成28年度から減少している。

【落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合】

【落札者に占める最低価格者の割合】



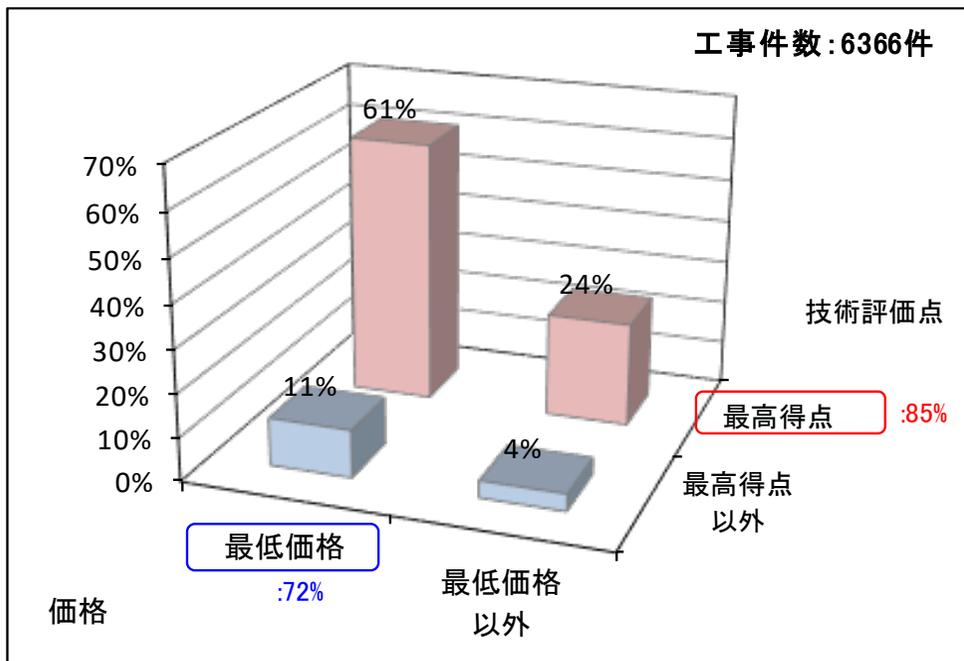
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・加算方式の試行工事(平成19年度)  
 注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

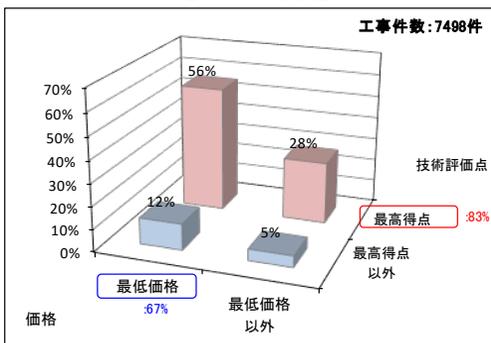
## (2) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕〔経年変化〕

- 落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成28年度の83%から平成29年度は85%と上昇している。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、平成28年度の67%から、平成29年度は72%に上昇している。

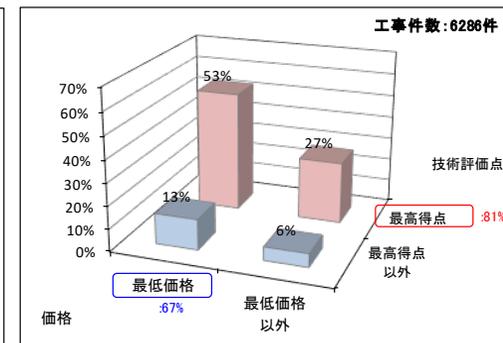
【平成29年度】



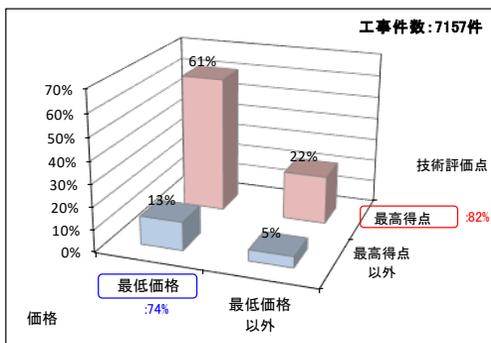
【平成28年度】



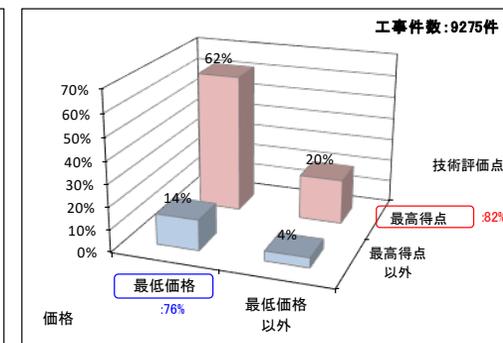
【平成27年度】



【平成26年度】



【平成25年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

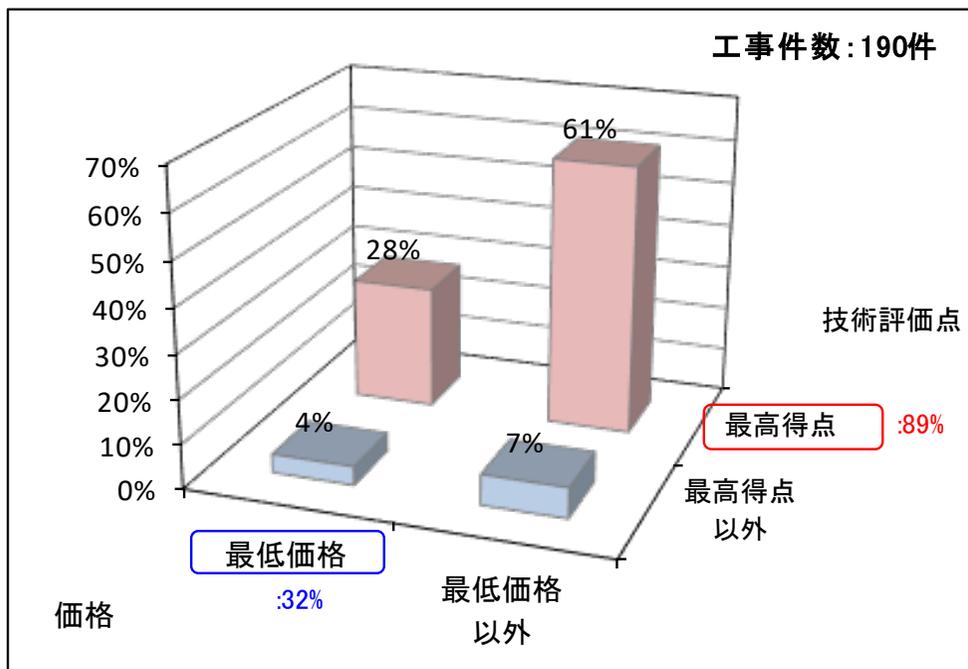
注#) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

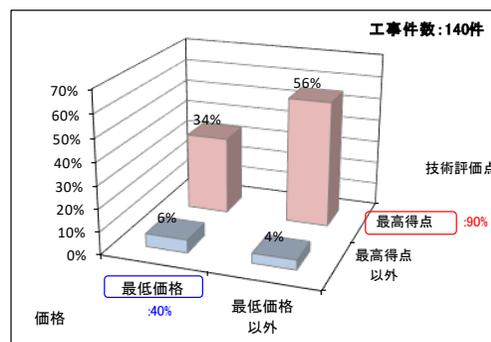
## (3) 落札者に占める 技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型(S型)] [経年変化]

- WTO技術提案評価型(S型)の落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成25年度以降85%~90%で推移している。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、平成29年度は32%となっている。

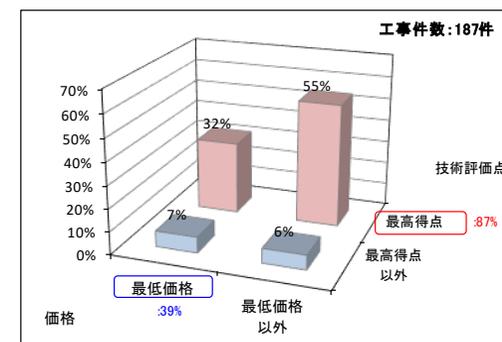
【平成29年度】



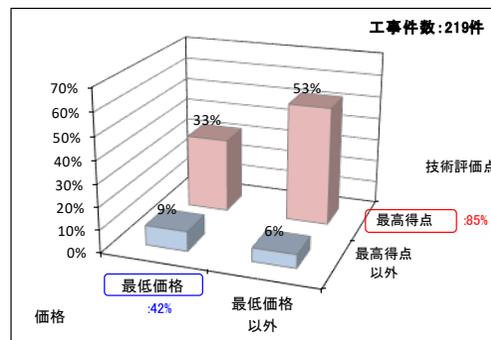
【平成28年度】



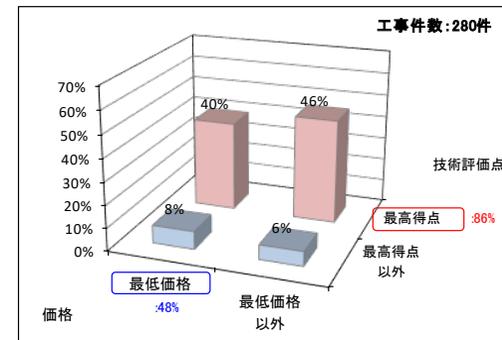
【平成27年度】



【平成26年度】



【平成25年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

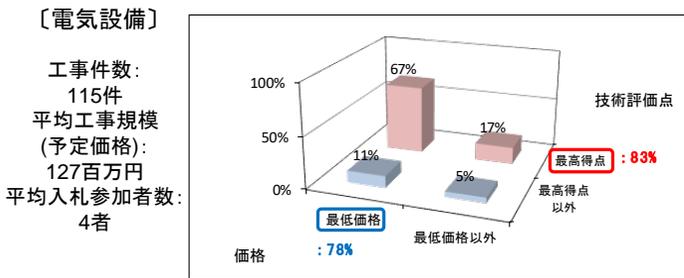
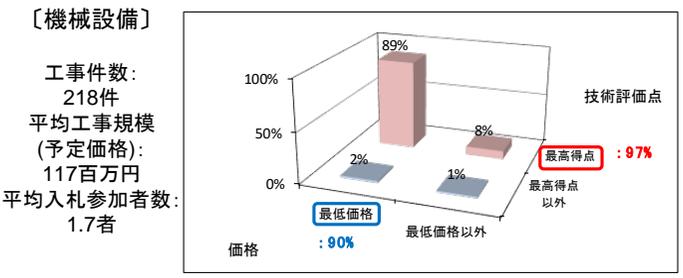
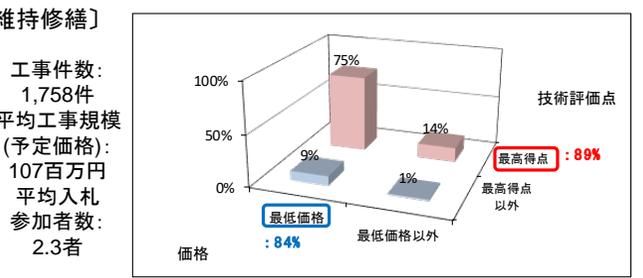
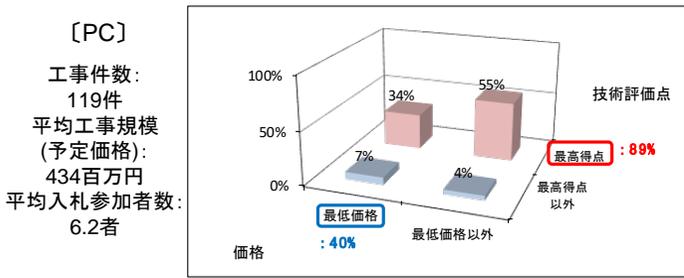
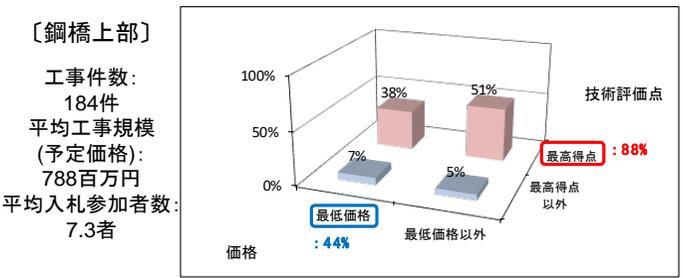
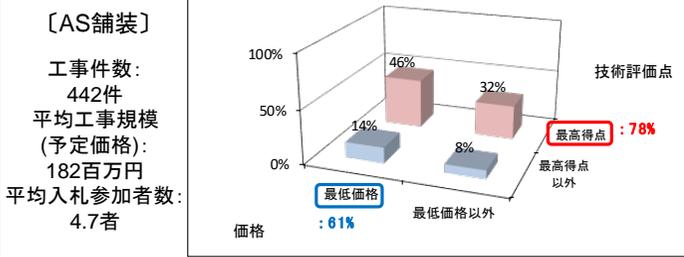
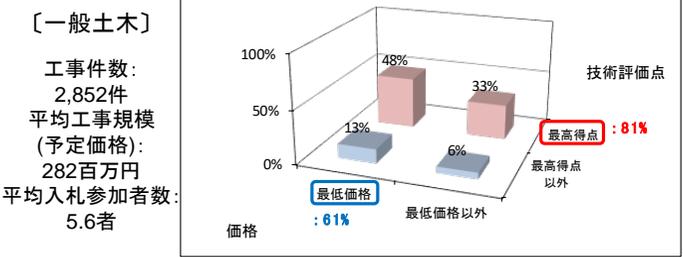
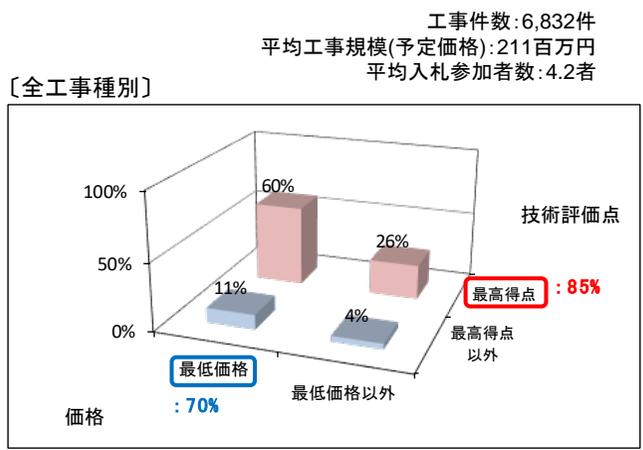
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

## (4) 落札者の内訳〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、維持修繕、機械設備、電気設備における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、鋼橋上部、PCでは最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。



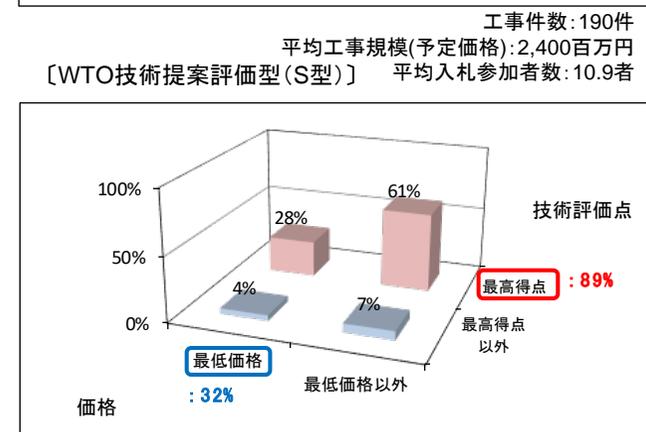
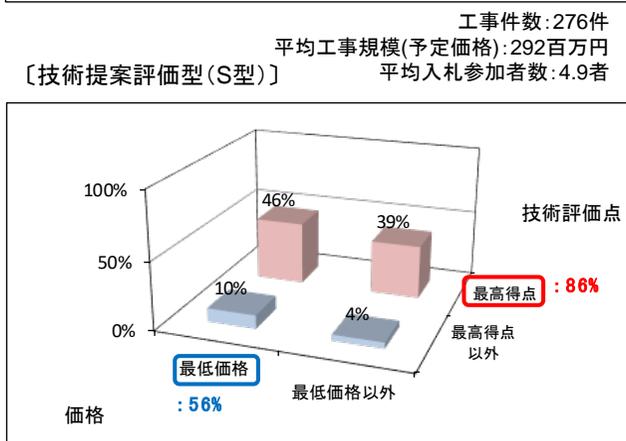
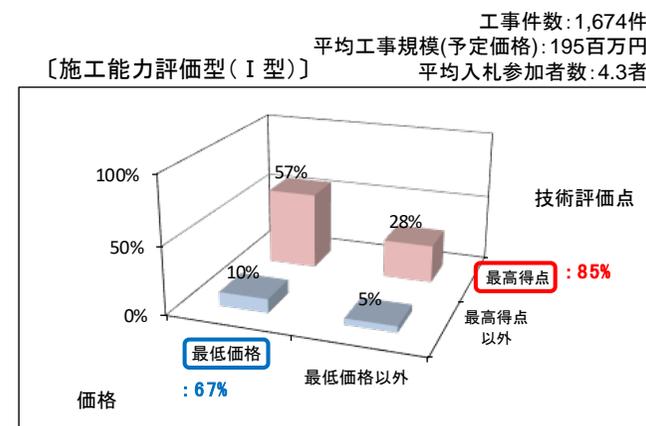
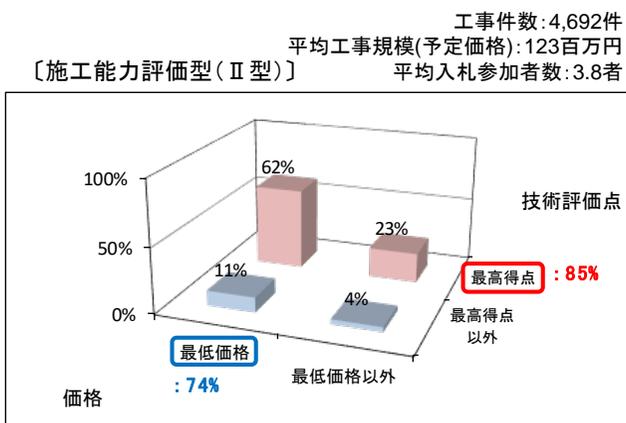
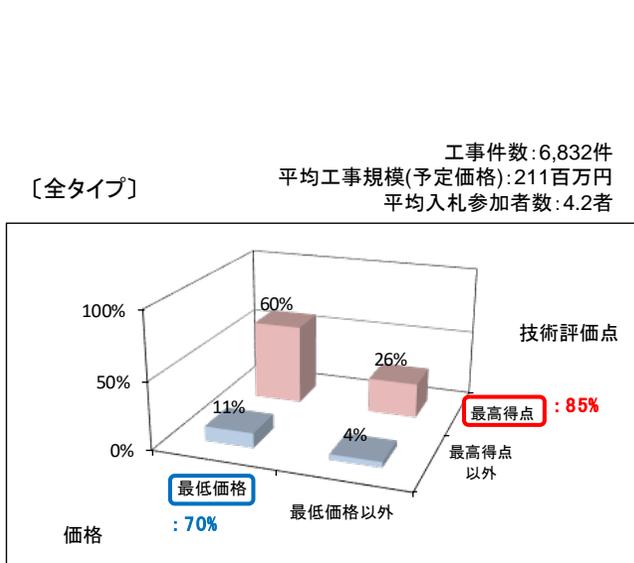
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。  
注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## ②総合評価のタイプ別

■ 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、WTO技術提案評価型(S型)では、最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## (5) 落札者の技術評価点と落札価格の状況〔経年変化〕

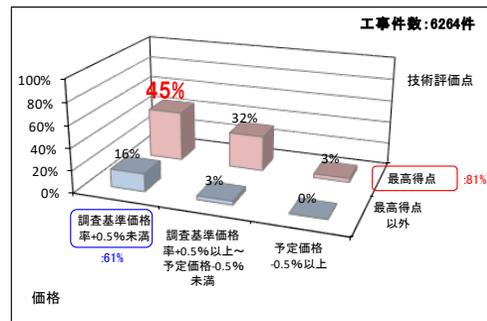
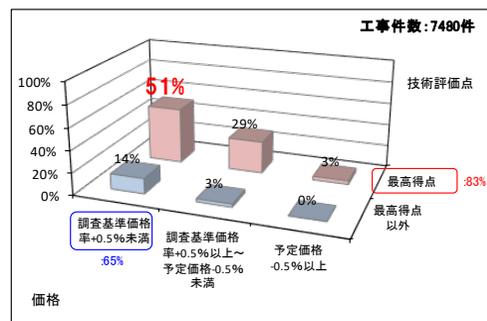
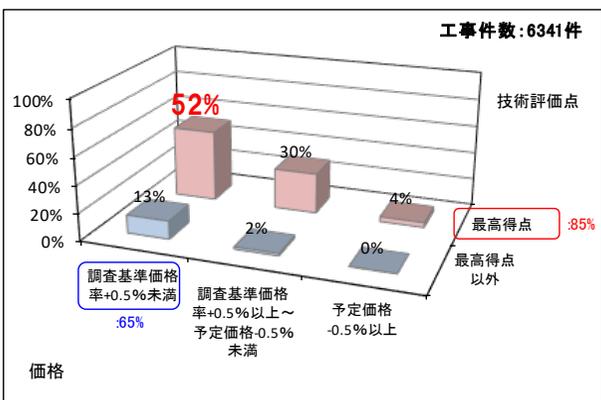
■ 技術評価点の最高得点者が調査基準価格付近(落札率が調査基準価格率+0.5%未満)の価格で落札する割合は、WTO技術提案評価型(S型)で85%となっている。

【平成29年度】

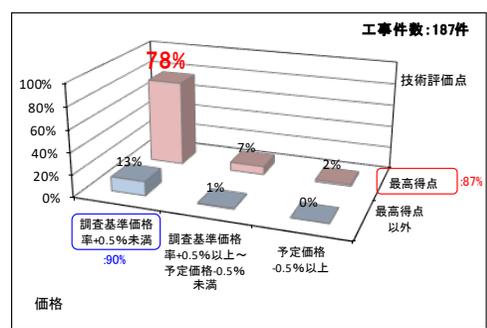
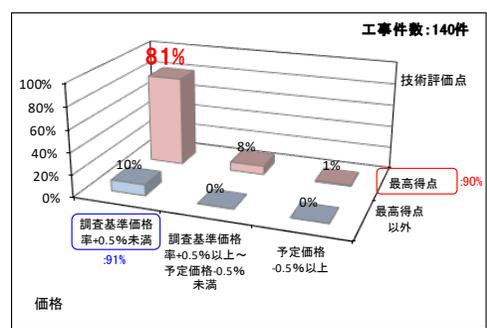
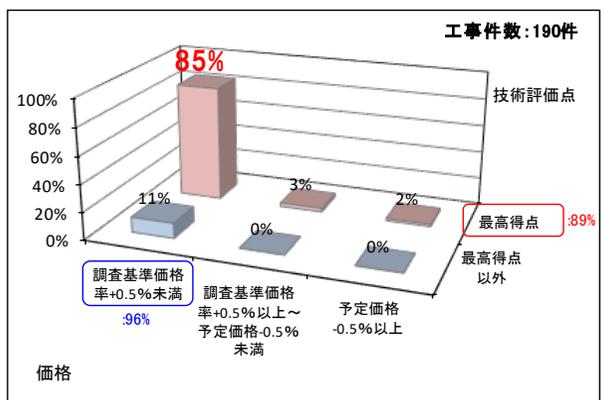
【平成28年度】

【平成27年度】

[施工能力  
評価型]



[WTO技術  
提案評価型  
(S型)]



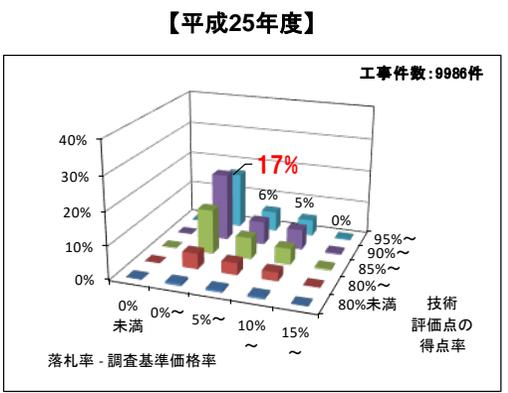
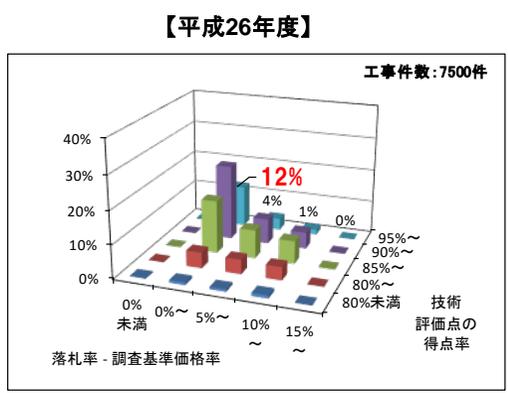
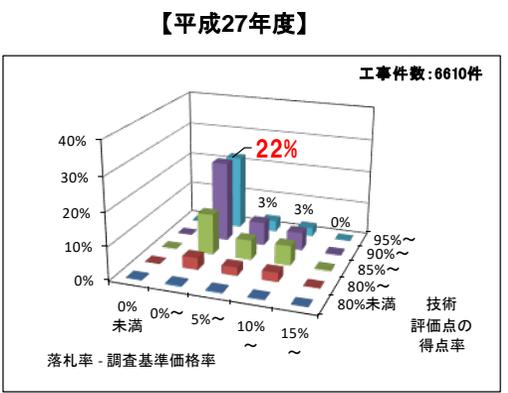
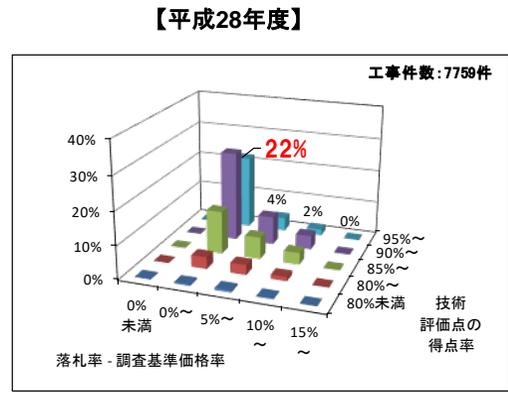
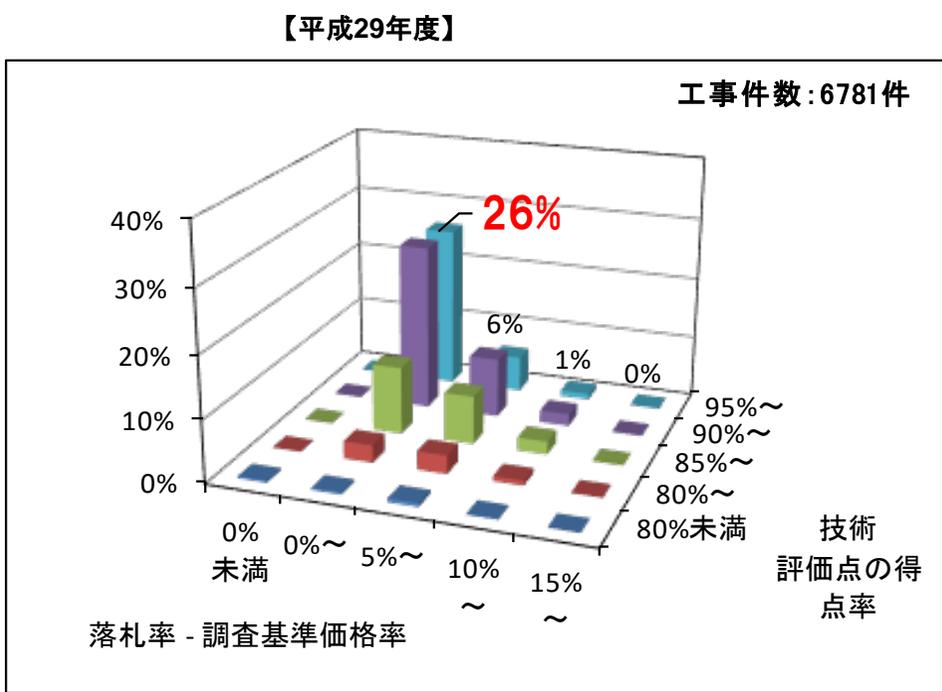
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む  
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

## (6) 落札者の「落札率－調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 「技術評価点の得点率」が95%以上で「落札率－調査基準価格率」が0%以上5%未満の落札者は、平成28年度の22%から平成29年度は26%となっている。



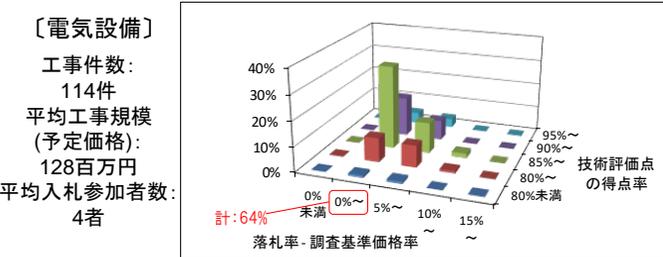
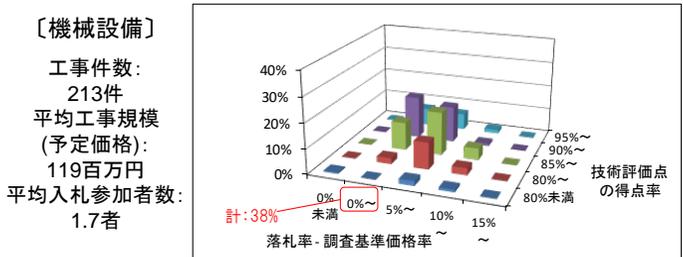
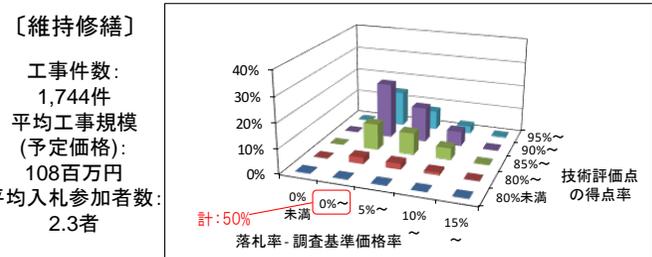
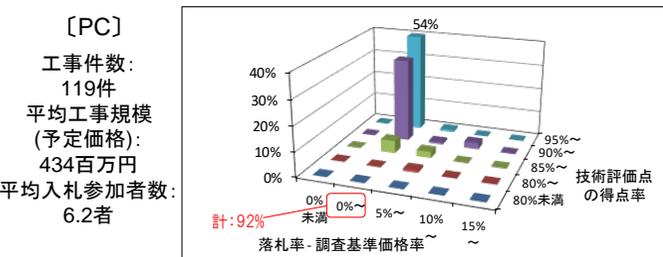
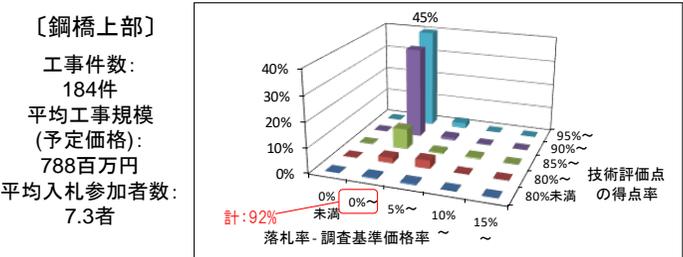
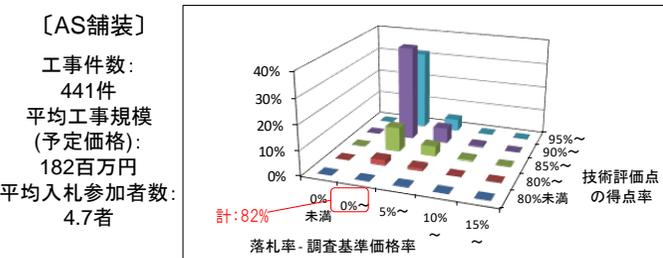
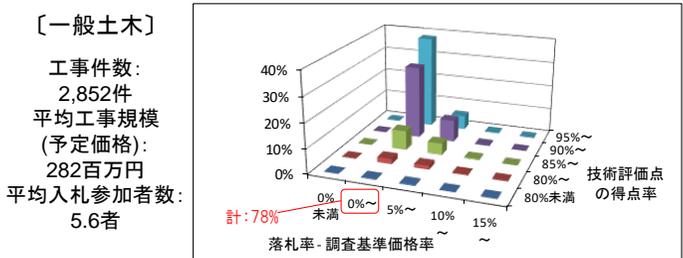
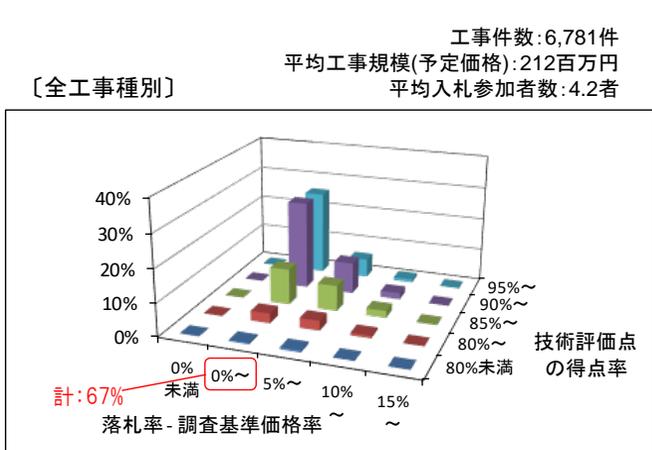
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・調査基準価格が設定されていない工事

# 5. 総合評価の特徴

## (7) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満の落札者が多く、鋼橋上部とPCでは92%となっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・調査基準価格の設定されていない工事。

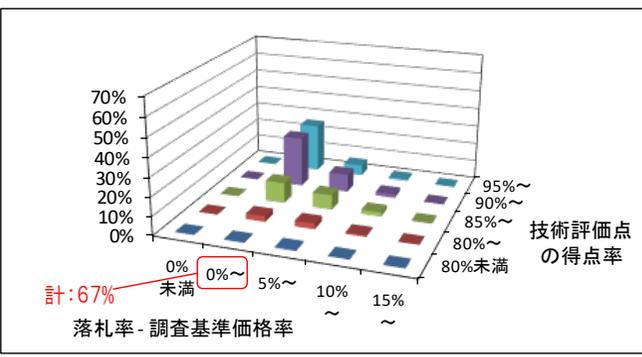
注2) 平均入札参加者数は、  
 ・競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 ・予定価格超過者は含む。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

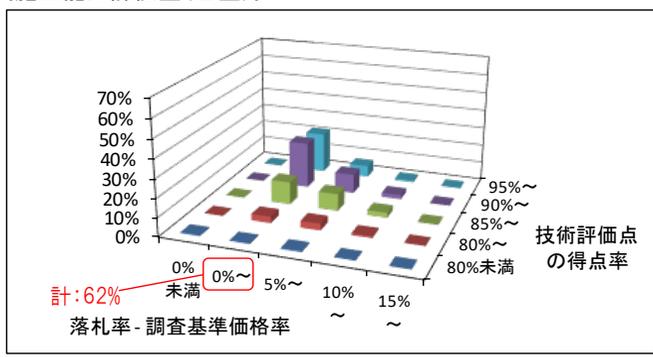
## ②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)は、落札者の96%が「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満であり、「技術評価点の得点率」が95%以上の落札者が多くになっている。

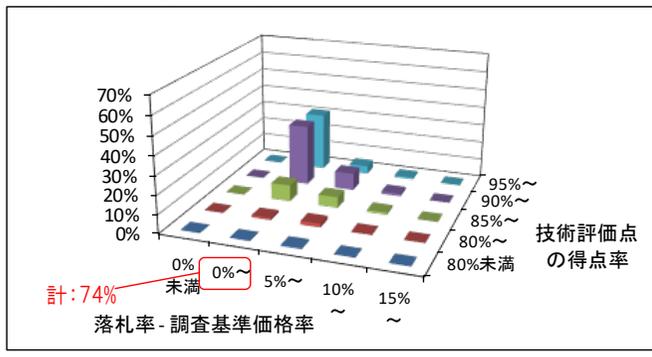
工事件数: 6,781件  
平均工事規模(予定価格): 212百万円  
平均入札参加者数: 4.2者  
〔全タイプ〕



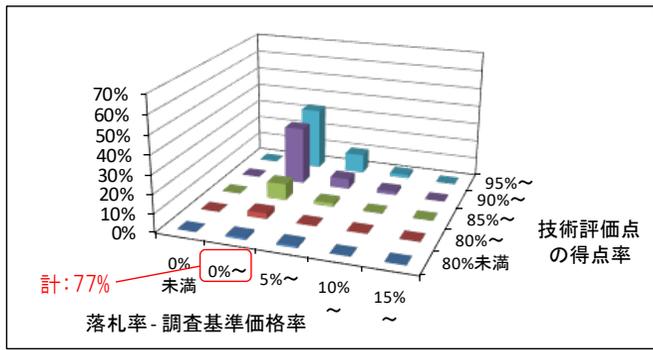
工事件数: 4,644件  
平均工事規模(予定価格): 124百万円  
平均入札参加者数: 3.8者  
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



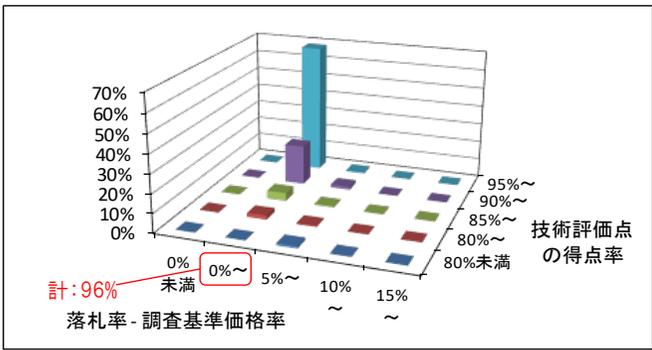
工事件数: 1,671件  
平均工事規模(予定価格): 196百万円  
平均入札参加者数: 4.3者  
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



工事件数: 276件  
平均工事規模(予定価格): 292百万円  
平均入札参加者数: 4.9者  
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 190件  
平均工事規模(予定価格): 2,400百万円  
平均入札参加者数: 10.9者  
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



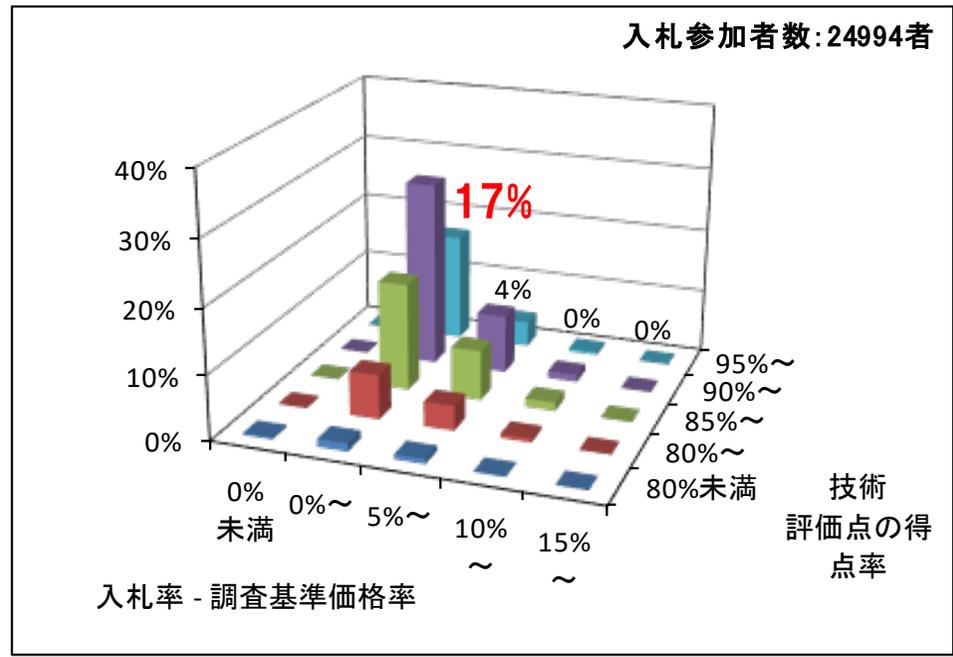
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・調査基準価格の設定されていない工事。  
 注2) 平均入札参加者数は、  
 ・競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 ・予定価格超過者は含む。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

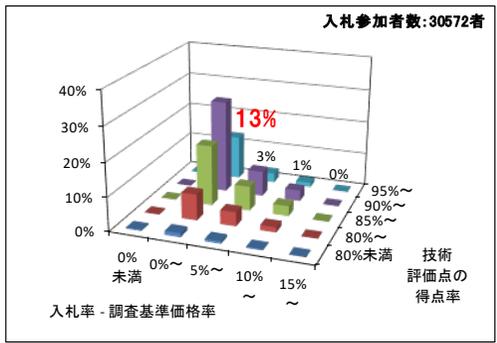
## (8) 入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 入札参加者の「技術評価点の得点率」が95%以上で「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満の入札は、平成28年度の13%から平成29年度は17%に増加している。

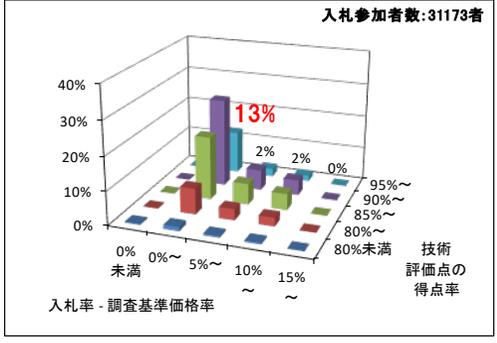
【平成29年度】



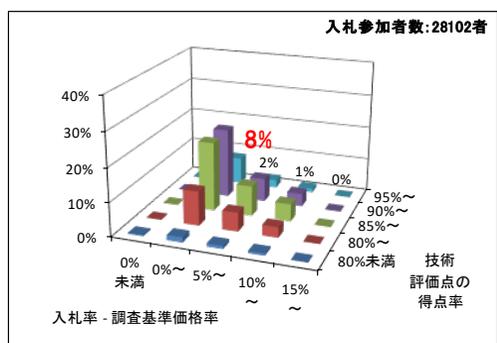
【平成28年度】



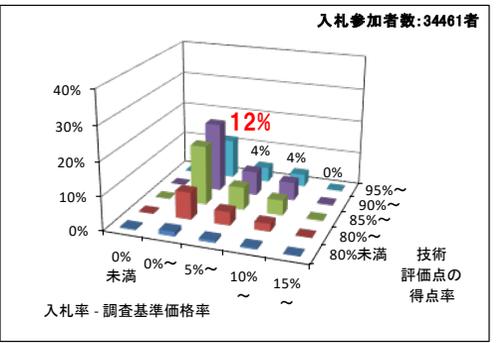
【平成27年度】



【平成26年度】



【平成25年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

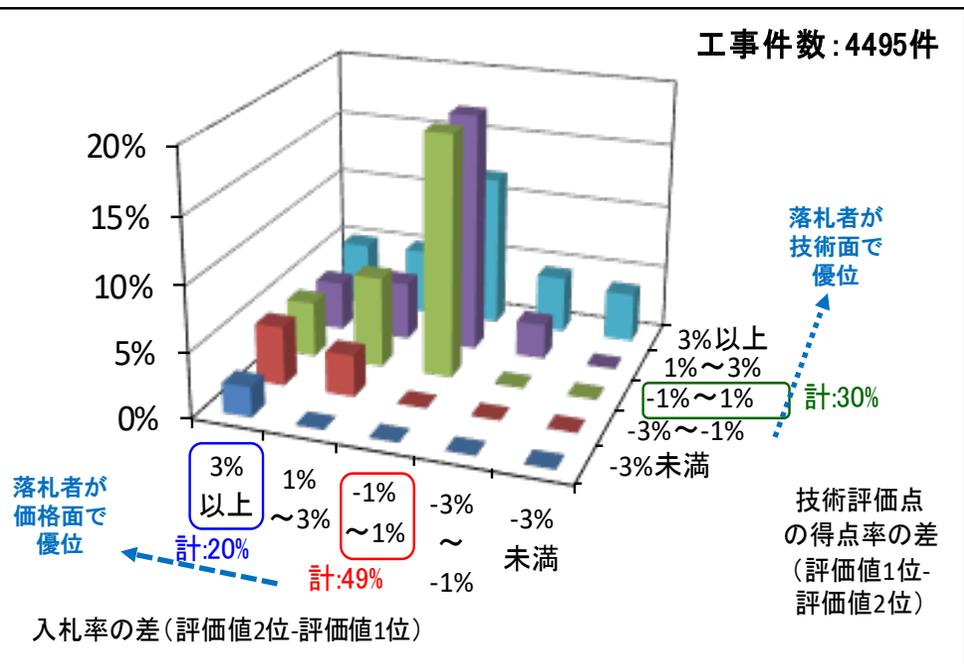
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

# 5. 総合評価の特徴

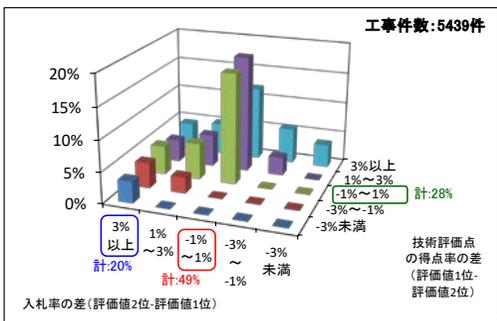
## (9) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔経年変化〕

- 「落札者と次点者の技術評価点の得点率の差」が±1%の割合は、平成29年度に30%と平成28年度から2%増加している。
- 「落札者と次点者の入札率の差」が±1%の割合は、平成29年度に49%と平成28年度から変わらない。

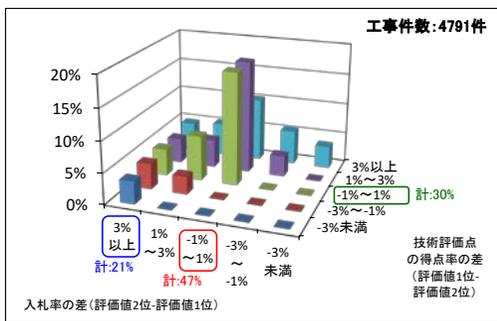
【平成29年度】



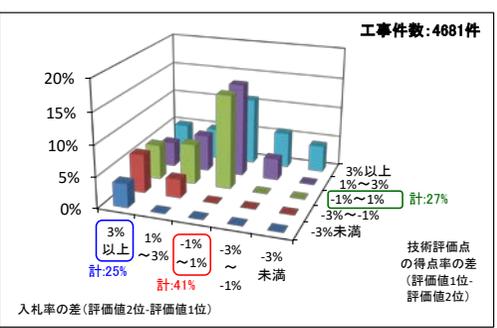
【平成28年度】



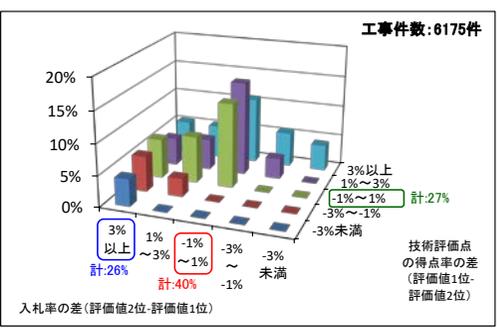
【平成27年度】



【平成26年度】



【平成25年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の工事

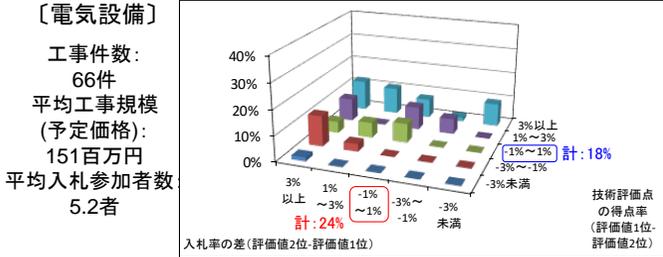
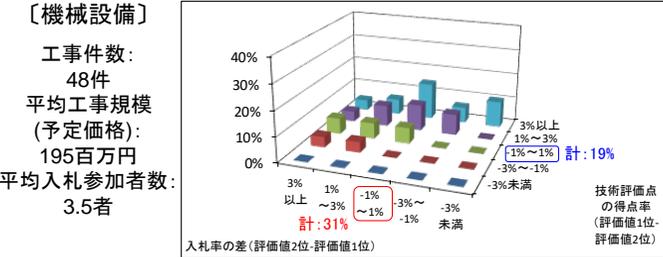
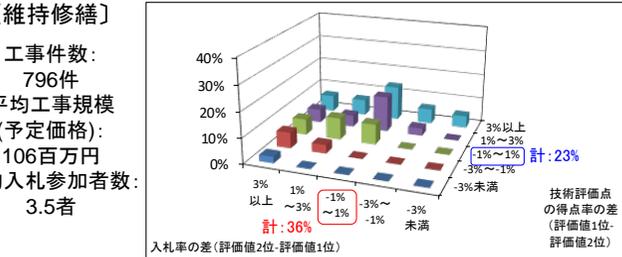
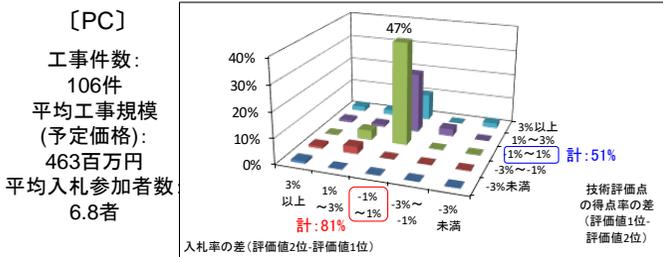
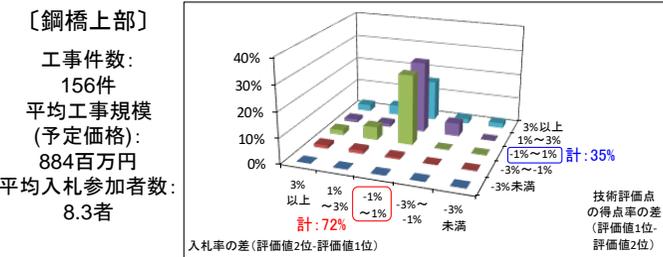
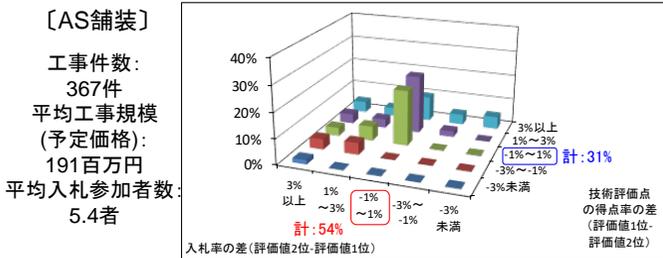
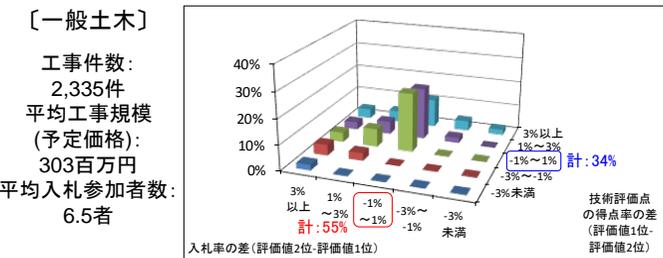
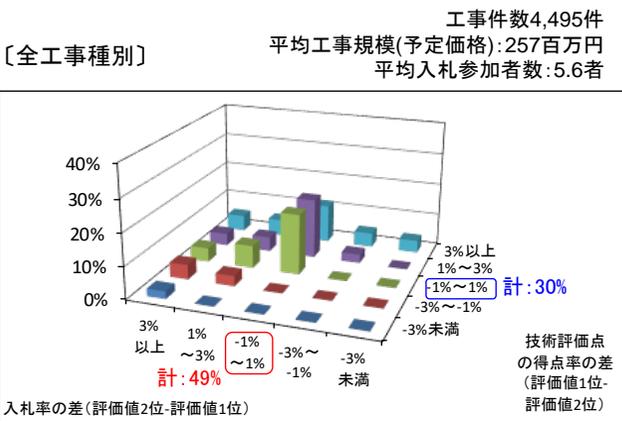
注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

## (10) 落札者（評価値1位）と次点者（評価値2位）の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔平成29年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PC は、「技術評価点の得点率の差」、「入札率の差」ともに±1%の落札者が他の工事種別よりも多くなっている。



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

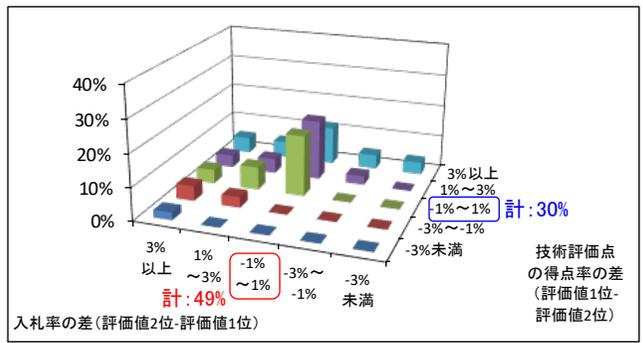
注2)落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。  
 注3)平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。  
 注4)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

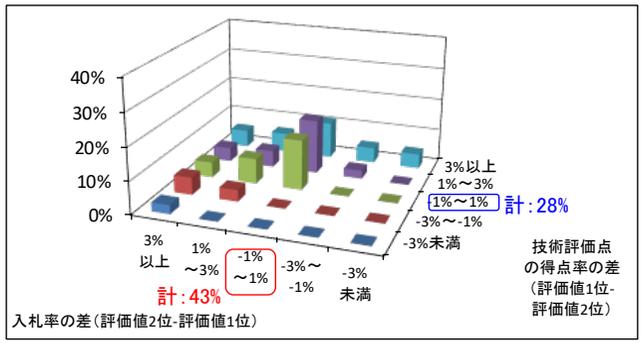
## ②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「技術評価点の得点率の差」が±1%の割合が43%、「入札率の差」が±1%の割合が81%であり、全タイプ平均よりもそれぞれ13%、32%高くなっている。

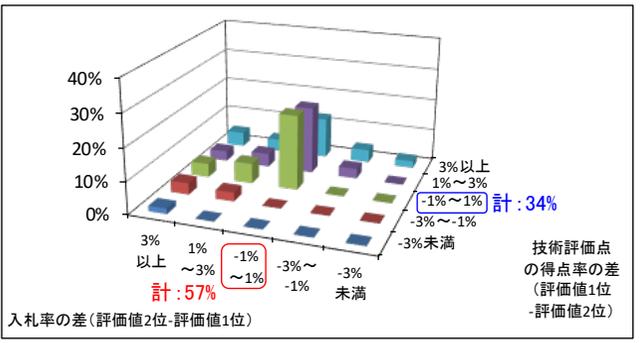
工事件数: 4,495件  
平均工事規模(予定価格): 257百万円  
平均入札参加者数: 5.6者  
〔全タイプ〕



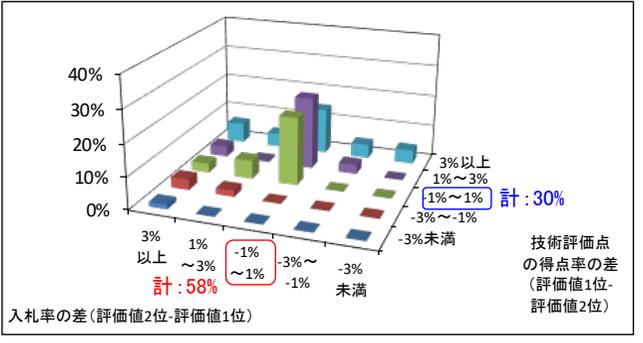
工事件数: 2,905件  
平均工事規模(予定価格): 138百万円  
平均入札参加者数: 5.3者  
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



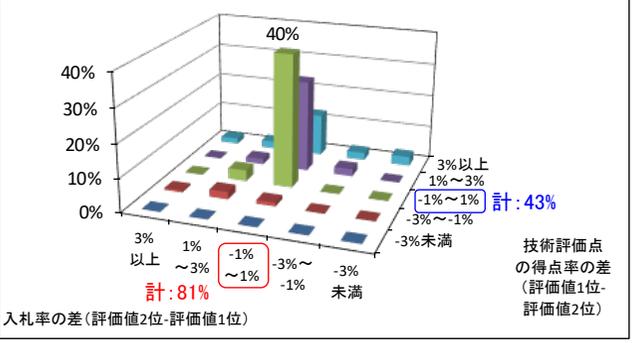
工事件数: 1,202件  
平均工事規模(予定価格): 208百万円  
平均入札参加者数: 5.4者  
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



工事件数: 207件  
平均工事規模(予定価格): 326百万円  
平均入札参加者数: 6.1者  
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 181件  
平均工事規模(予定価格): 2,407百万円  
平均入札参加者数: 11.3者  
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

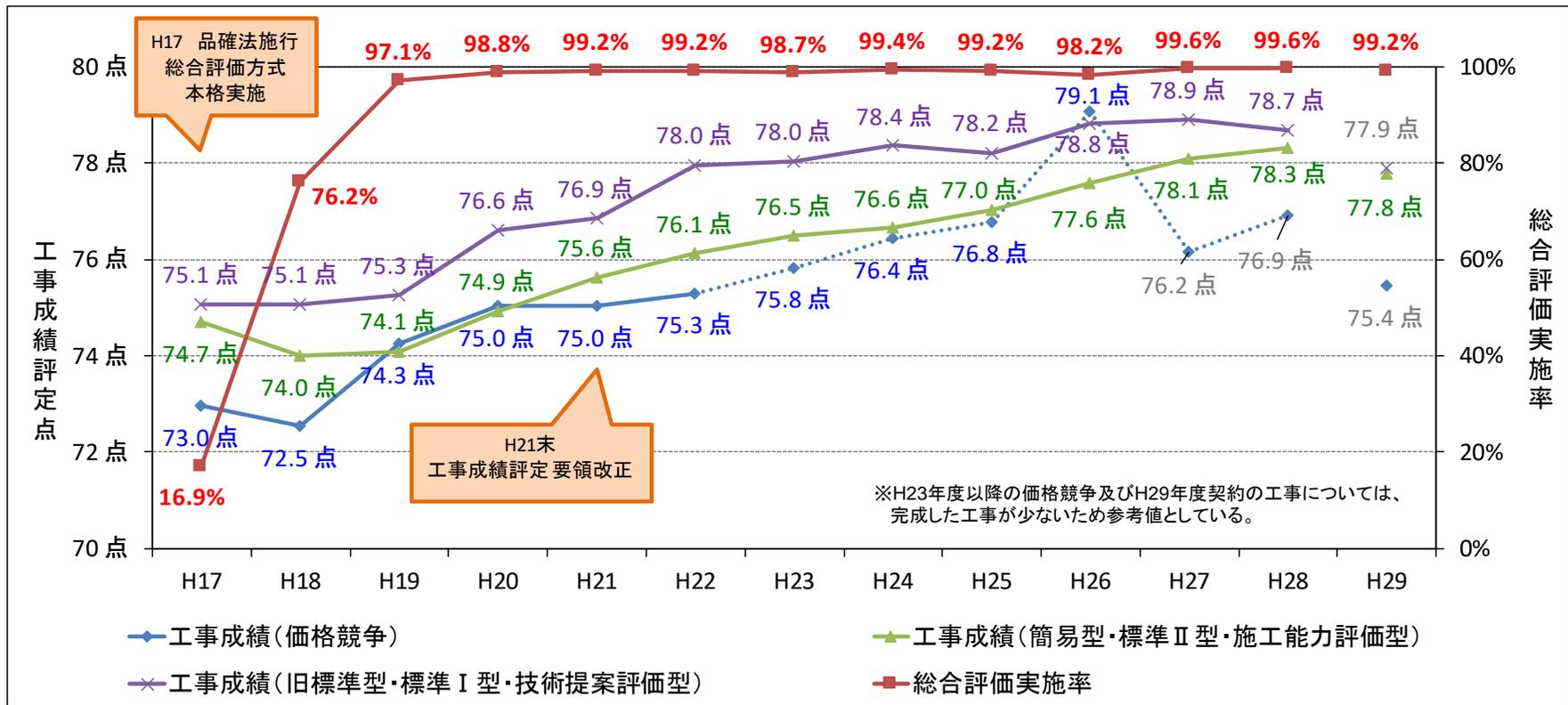
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (1) 総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化

■ 契約タイプ別では、価格競争よりも施工能力評価型、技術提案評価型の工事成績評定点の平均が高くなっている。



※H23年度以降の価格競争及びH29年度契約の工事については、完成した工事が少ないため参考値としている。

	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H27件数	H28件数	H29件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	77	13	20	18
総合評価(簡易型・標準II型・施工能力評価型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,932	7,963	9,129	6,835	6,034	7,090	2,435
総合評価(旧標準型・標準I型・技術提案評価型)	378	686	921	725	691	211	255	220	450	349	310	179	51

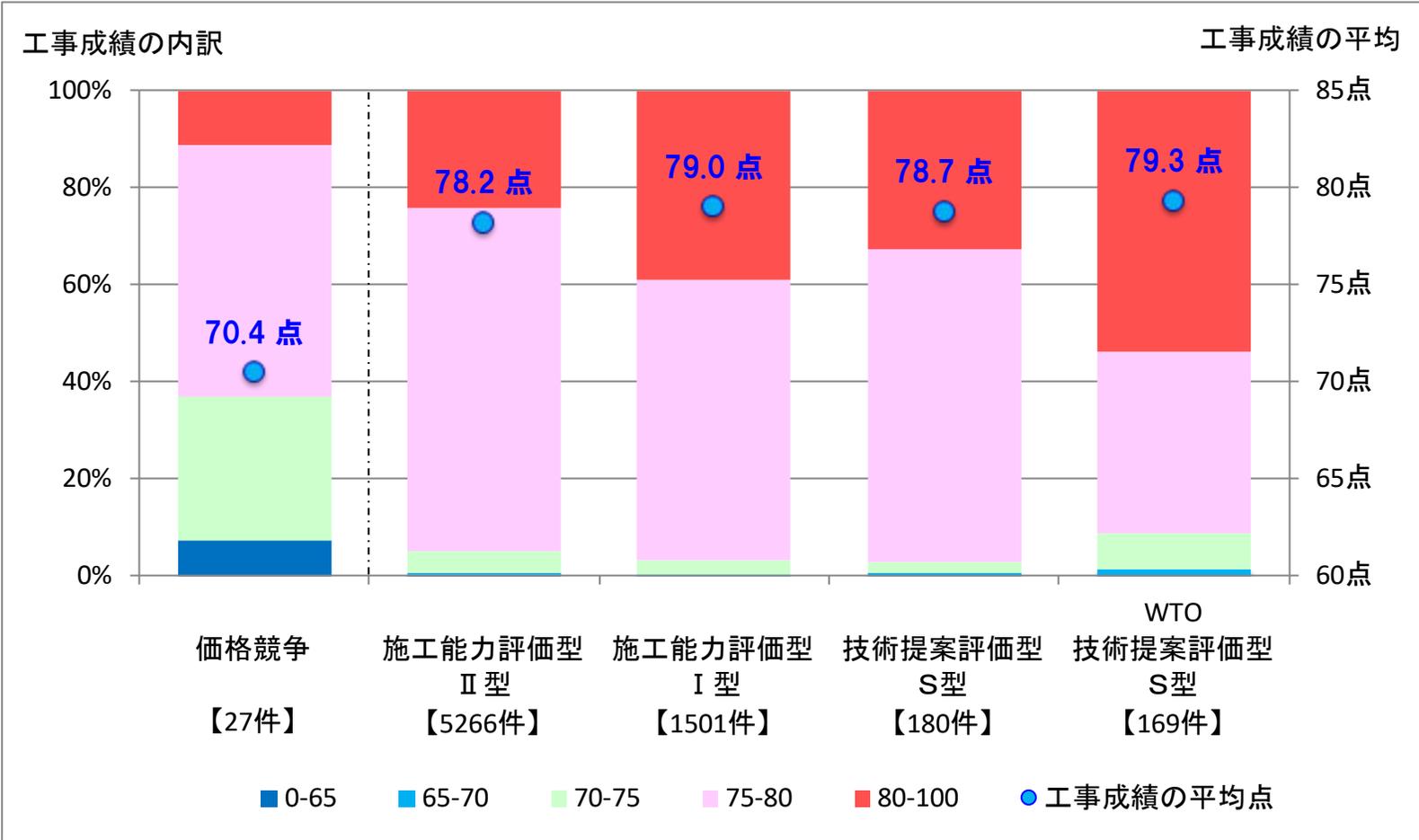
注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を含む  
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データ(平成29年度完成分まで)と契約データのマッチングができたものを対象

注4) 各年度の工事件数は契約年度別で整理  
 注5) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (2) 契約タイプと工事成績評定点

■ 工事成績評定点の平均は、施工能力評価型(Ⅱ型)で78.2点、同(Ⅰ型)で79.0点、技術提案評価型(S型)で78.7点、WTO技術提案評価型(S型)で79.3点となっている。

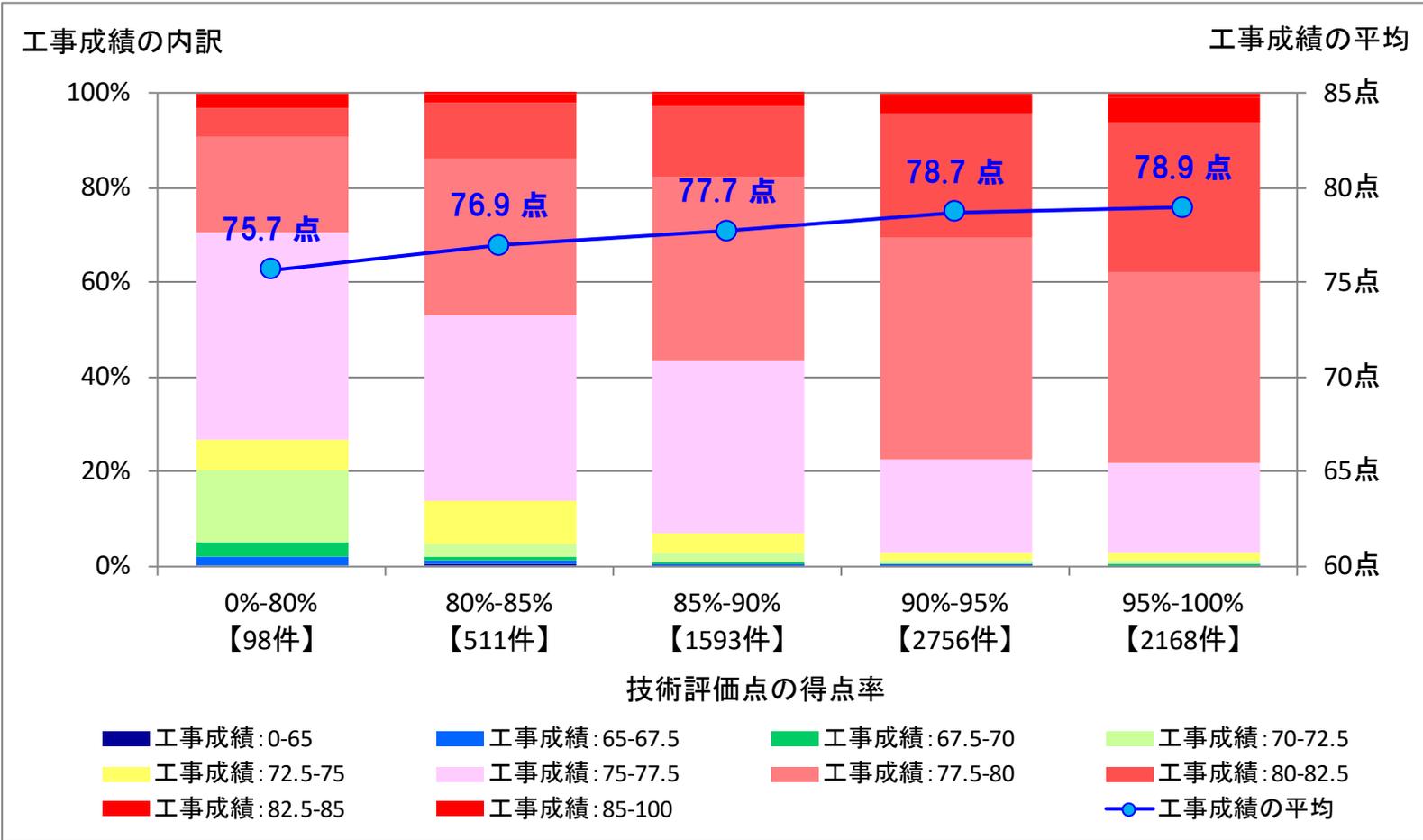


注1) 8地方整備局等の平成29年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)、価格競争を含む。  
 注2) 工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象  
 注3) 二極化前の従来タイプを適用した総合評価落札方式は除く

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (3) 技術評価点得点率と工事成績評定点

■ 技術評価点の得点率が80%以上85%未満の工事では工事成績評定点の平均が76.9点、技術評価点の得点率が95%以上の工事では、工事成績表定点の平均が78.9点と高くなっている。



注1) 8地方整備局等の平成29年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)、価格競争を除く。  
 注2) 工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象